

<b>科目名</b>	宗教学の人間論	<b>対象 単位数 必選</b>	家政学部 人間生活学科生活総合コース 1年 2単位 必修/家政学部 人間生活学科福祉コース 1年 2単位 必修/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 1年 2単位 必修/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 必修
<b>担当教員</b>	福島 寅太郎		
<b>開講期</b>	前期		
<b>授業概要</b>	<p>〔授業の目的・ねらい〕 ☑</p> <p>①本学の建学精神を理解するために必要な教養的知識を習得させる。☑</p> <p>②教養のある現代人として宗教に関する必要な知識を身につけさせる。☑</p> <p>〔授業の概要〕 ☑</p> <p>本講義は本学の建学精神に基づいた全学科・専攻の必修科目である。☑</p> <p>宗教は人間生活のあるところ、どの時代にもどの場所にも影響を及ぼしており、現在の私たちもまた日常生活の中で常にそれらと関わっている。グローバル化が進み、異文化間の相互理解が求められる現代において、宗教は果たしてどのような役割を果たすことができるのであろうか。☑</p> <p>本講義は、諸宗教の思想や信仰、特に現代日本およびアジアの諸宗教におけるさまざまな事例を取り上げ、宗教学的観点から探ることを目的とする。授業への理解を深めるために、アニメなどの映像を数多く取り扱う予定である。ちなみに「トトロはオスですか、それともメスですか」。素朴な疑問が学問への重要な一歩である。☑</p> <p>本年度は、本学の学問の特徴である「生活学」に焦点を当てて、宗教と生活との関わりを考えてみたい。具体的には、当該問題に関連した最新の研究書を教科書として用い、当該教科書の読解を通じて理解を深めていきたいと考えている。☑</p> <p>福祉コースの受講者には、①福祉の理念を理解し、人権、尊厳の保持や権利擁護の視点および専門職としての基盤となる倫理観を養い、②人間にとっての自立の意味と、本人主体の観点から尊厳の保持や自己決定の考え方を理解する内容としている。☑</p> <p>授業時の質疑応答やレポートの返却等によってフィードバックを行う。 ☑</p> <p>位置づけ・水準: GU1101</p>		
<b>達成目標</b>	<p>〔到達目標〕 ☑</p> <p>①宗教学的“ものの見方”を理解する。☑</p> <p>②宗教が身近な存在であることを再確認し、「宗教」に対する偏りのない理解ができることを目指す。☑</p> <p>③紹介された諸事例を通じて、「宗教」と「宗教的なもの」との異同を理解する。☑</p> <p>④福祉コースの受講者には、人間の理解を基礎として、尊厳の保持と自立について理解し、介護福祉の倫理的課題への対応能力の基礎を身につけさせる。☑</p> <p>単位認定の最低基準は:「内容の7割以上を理解していること」☑</p> <p>DPとの関係:個の確立、人間形成</p>		
<b>受講資格</b>	特になし	<b>成績評価 方法</b>	試験成績60点、授業における発表20%、授業における参加態度20%など。理解度8割で、合とする。
<b>教科書</b>	特に指定していないが、必要に応じて、途中から指定する場合がある。その場合は事前に知らせる。		
<b>参考書</b>	特になし。		
<b>学生への要望</b>	ノートをこまめにとること。		
<b>オフィスタイム</b>	月曜日から金曜日（火曜日を除く）昼休みの時(12時～12時40分)。担当教員の研究室（創学館No.5）		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス	授業の進み方、建学精神との関連について述べるとともに、テストや成績評価などについて紹介する。教科書についても案内する予定である。	1回目に当たり、とくになし。	90
2	生活と宗教（1）～アップル製品は何故シンプルか～	具体的には禅を取り上げる。禅の歴史や基本的な教えについて述べる。アップルの創始者・ジョブズ氏は敬虔な禅の実践者である。シンプルさを追求したアップル製品を話題にしなが、生活における禅の役割を考える。	授業ノートを読み返し、内容理解を深める	1.5
3	生活と宗教（2）～今どうして禅なのか～	前回の続き。禅とは何かを、身近な話題を通して考える。	授業ノートを読み返し、内容理解を深める	1.5
4	生活と宗教（3）～今はどうして生活禅なのか～	「生活禅」とは何か。配布予定のプリントを通して学びながら、一緒に考えてみる。	授業ノートを読み返し、内容理解を深める	1.5
5	生活と宗教（4）～ダルマとは誰か～	「達磨さんが転んだ」という鬼ごっこをみんなは一度ぐらい遊んだことがあろう。ここに出てくる達磨さんとは誰のことであろうか。歴史上の達磨さんと民間信仰のそれとの異同を明らかにしてみたい。	授業ノートを読み返し、内容理解を深める	1.5
6	生活と宗教（5）～般若心経とはどんな教えを説いているのか～	『般若心経』と生活禅について述べる。日常生活の中で、『般若心経』に触れる場面があると思う。ここでは教科書を用いながら『般若心経』とはどんなお経なのかを学ぶと共に、生活禅との関係を理解する。	授業ノートを読み返し、内容理解を深める	1.5
7	生活と宗教（6）～心の三次元～	心とは何か。宗教は人間の不可視的なものを可視的にする文化的装置である。ここでは宗教から見た人間の心とは何かを、禅における心のとらえ方を通して理解する。	授業ノートを読み返し、内容理解を深める	1.5

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
8	生活と宗教（7）～心の成長物語～	前回の続き。具体的には『十牛図』という最古のマンガを通して理解を深める。	授業ノートを読み返し、内容理解を深める	1.5
9	生活と宗教（8）～悩みはどこから来るのか～	悩みとは何か。禅における悩みの対処法を、配布予定のプリントを通して理解する。	授業ノートを読み返し、内容理解を深める	1.5
10	生活と宗教（9）～特別授業～	気分転換のために、アニメにおける宗教的要素について考察する。具体的には『となりのトトロ』を取り上げる。☒	授業ノートを読み返し、内容理解を深める	1.5
11	生活と宗教（10）～特別授業～	前回の続き。ちなみに、トトロの性別はオスか、それともメスか。素朴な疑問が学問への重要な第一歩である。	授業ノートを読み返し、内容理解を深める	1.5
12	生活と宗教（11）～生活と宗教との関わり～その一	「生活の中で修行し、修行の中で生活する」という言葉の意味を理解しながら、生活と宗教との関わりを考える。	授業ノートを読み返し、内容理解を深める	1.5
13	生活と宗教（12）～生活と宗教との関わり～その二	前回の続き。人間らしく生きるためにはどうしたらいいか、人間の本質とは何かについて配布プリントを参考にしながら、考えてみる。	授業ノートを読み返し、内容理解を深める	1.5
14	生活と宗教（13）～まとめ～	これまでの授業の全体についてまとめると共に、期末テストについて説明する。	授業ノートを読み返し、内容理解を深める	1.5
15	最終回～まとめ～その②	授業の内容を踏まえつつ、建学精神である「尊敬・責任、自由」の意義を再び考えることにする。	授業ノートを読み返し、内容理解を深める	1.5

<b>科目名</b>	哲学的人間論	<b>対象 単位数 必選</b>	家政学部 人間生活学科生活総合コース 1年 2単位 必修/家政学部 人間生活学科福祉コース 1年 2単位 必修/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 1年 2単位 必修/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 必修/短期大学部 専攻科文化学専攻 1年 2単位 選択
<b>担当教員</b>	関川 悦雄		
<b>開講期</b>	前期		
<b>授業概要</b>	本授業のねらいは、ご自身☒ の人間としての生き方やあり方について自問自答をしながら、人間をどうとらえるかを探るとい点にあります。授業内容がむずかしいように見えるでしょうが、難解な概念や語句をいかに易しい言葉で述べるか、が課題になります。そこで、高校時代の「倫理」や「政治経済」などで学習した人物、たとえば『政府二論』を執筆したロック、『国富論』のアダム・スミス、『純粹理性批判』のカント、『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』のマックス・ウェーバーを取り上げます。本講義では、歴史上の哲学者が人間をどうとらえたか、たとえば「人間は考える葦」（パスカル）とか、人間は知性的に行動するとか、人間は自由意志をもつ等々を取り上げます。なお、この講義専用のノートを用意して、それに講義内容を予習・復習の形で記述して貰いますが、それに対するフィードバック（評価）は行います。位置づけ・水準はGU1102です。		
<b>達成目標</b>	1 受講者は各哲学者の考え・思想の8割を理解し、まとめることができること。☒ 2 受講者は各哲学者にあつては「人間をどうとらえたか」という人間像を把握できること。☒ 3 受講者は各哲学者に関する講義を聴いて、最終的にご自身の「人間としての生き方やあり方」を述べるができること。これら三つの学修によって、ディプロマ・ポリシーに掲げられている「個の確立」と「人間形成」が図られることが期待できる。また、単位認定の最低基準は、これら三項目の7割程度理解し、活用できることである。☒		
<b>受講資格</b>	特になし	<b>成績評価方法</b>	毎回ワークシートを使用し、教科書（テキスト）を使いつつこのワークシートの内容空欄を埋め、どこかで必ず1回は発表することで、10点とする。加えて、自作ノートに対する評価は10点とする。学期末試験で80点とし、合計100点とする。
<b>教科書</b>	佐藤康邦『近代哲学の人間像』（放送大学教材NHK出版）を使用する。絶版の場合はコピー物を用意する。		
<b>参考書</b>	特になし		
<b>学生への要望</b>	講義への主体的、協力的な参加を要望する。この講義専用のノートを用意すること		
<b>オフィスタイム</b>	水曜III限（12:50～14:20）；木曜IV限（14:30～16:00）。教職課程共同推進室内の関川研究室（家政学館）。		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	講義ガイダンス	授業の進め方やワークシートの活用・自作ノートの作成、成績評価の付け方、班別討議の仕方などを説明する。	予習・復習；自作ノートへの整理・記述	40
2	経験論の哲学（1）ーロックの経験論哲学	生得観念の拒否、タブラ・ラサ、経験論にとっての感覚・理性、社会契約説、認識論の是非などを扱う。	予習・復習；自作ノートへの整理・記述	40
3	経験論の哲学（2）ーヒュームの哲学	スコットランド倫理学、単純印象と想像力、因果性の問題、心の同一性の問題などを扱う。	予習・復習；自作ノートへの整理・記述	40
4	アダム・スミスにおける倫理学と経済学（1）	アダム・スミスの生涯、スミスの倫理学（『道徳感情論』をめぐって）一天文学史、共感と倫理学、公平な観察者、正義と博愛などを扱う。	予習・復習；自作ノートへの整理・記述	40
5	アダム・スミスにおける倫理学と経済学（2）	スミスの経済学（『国富論』をめぐって）一近代哲学の成果としての『国富論』、分業と交換、資本と労働などを扱う。	予習・復習；自作ノートへの整理・記述	40
7	カントの哲学（2）ー実践理性批判	道徳と自由、『実践理性批判』の全体構成、道徳と世界の目的一徳と幸福との一致、目的としての人格などを扱う。	予習・復習；自作ノートへの整理・記述	40
8	ヘーゲルの哲学ードイツ観念とヘーゲル	カントの『判断力批判』の継承ーゲーテの自然学、シェリングの哲学、ヘーゲル哲学の誕生、ヘーゲルの哲学体系などを扱う。	予習・復習；自作ノートへの整理・記述	40
9	実証主義的科学と哲学（1）ー実証主義の制圧	実証主義的科学、実証主義の制圧ーコントと実証主義、ダーウィンとマルクス、フロイトと無意識、新実証主義などを扱う。	予習・復習；自作ノートへの整理・記述	40
10	実証主義的科学と哲学（2）ー哲学からの反発	キルケゴールと実存主義、ニーチェの生哲学とパースペクティヴィズムなどを扱う。	予習・復習；自作ノートへの整理・記述	40
11	マックス・ウェーバーと社会学（1）	マックス・ウェーバーと西洋合理主義ー『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』、宗教社会学、支配の社会学、理解社会学などを扱う。	予習・復習；自作ノートへの整理・記述	40
12	マックス・ウェーバーと社会学（2）	社会システム論ーパーソンズの社会システム論、ルーマンの社会システム論などを扱う。	予習・復習；自作ノートへの整理・記述	40
13	生命概念のもとでの哲学の主張（1）	フッサールと超越論的現象学ーフッサールのロック批判、現象学的還元、ベルクソンの近代科学批判と生命概念ー時間と自由、『創造的進化』、生命の跳躍などを扱う。	予習・復習；自作ノートへの整理・記述	40

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
14	生命概念のもとの哲学の主張 (2)	日本近代と生命概念—『善の研究』、『自覚における直観と反省』などを扱う。	予習・復習；自作ノートへの整理・記述	40
15	授業のまとめ	講義全体への振り返り、自作ノートに対する評価	予習・復習；自作ノートへのチェック	40

<b>科目名</b>	倫理学的人間論	<b>対象 単位数 必選</b>	家政学部 人間生活学科生活総合コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択
<b>担当教員</b>	関川 悦雄		
<b>開講期</b>	後期		
<b>授業概要</b>	<p>本授業のねらいは、われわれが日常生活で、「この行為はまちがっているのではないか」と疑問に思い、「正しい行為とは何か」と考えてみることにあります。授業内容がむずかしいように見えるでしょうが、家族との何気ない雑談や友人とのちょっとした会話で、「何か納得できないなあ」といった疑問をもとに学習を始めることでしょね。この個人的な問題からテレビや新聞などで論じられる社会的な問題に発展させると、ここでも「その答えはほんとうにそれでよいのかなあ、あるいはちがうのではないのかなあ」という疑問をいただくことでしょ。さらに、国際的な争いや地球規模での事件などについても、何が正しい解決策であり、何が正当を得た答えなのか、を受講者の皆さんといっしょに考えてみましょう。こうした問題は、まぎれもなく倫理学や道徳という学問領域で扱われ、この領域を本授業で取り上げます。なお、この講義専用のノートを用意して、それに講義内容を予習・復習の形で記述して貰いますが、それに対するフィードバック（評価）は行います。位置づけ・水準はGU1103です。</p>		
<b>達成目標</b>	<p>1 受講者は何が善であり何が悪であるか、何が良くて何が悪いか、何が正しくて何が間違いか、などを意識的に考えることができること。☑                  2 受講者は倫理学における概念・理念・知識などをまとめ、整理できること。☑                  3 受講者は倫理学における概念・理念・知識などをどの程度習得できること。これら三つの学修によって、ディプロマ・ポリシーに掲げる「個の確立」と「人間形成」が図られることが期待できる。また、単位認定の最低基準は、これら三つの項目を7割程度理解し、活用できることである。☑</p>		
<b>受講資格</b>	特になし	<b>成績評価 方法</b>	毎回ワークシートを使用し、教科書（テキスト）をいくつかのワークシートの内容空欄を埋め、どこかで必ず1回は発表して10点とし、自作ノートの作成で10点とする。評価はこれら二つを含めて、学期末のまとめ作成の80点とし、総計100点とする。
<b>教科書</b>	①田上孝一『フシギなくらい見えてくる 本当にわかる倫理学』（日本実業出版社）、②葛生栄二郎・河見誠・伊佐智子共著『新・いのちの法と倫理』（改訂版、法律文化社）		
<b>参考書</b>	特になし。		
<b>学生への要望</b>	講義への主体的、協力的な参加を要望する。この講義専用のノートを用意すること。		
<b>オフィスタイム</b>	水曜III限（12:50～14:20）；同曜IV限（14:30～16:00）。教職課程推進内の関川研究室（家政学館4階）。随時、時間のあるときにも相談に応じるので、下記のメール・アドレスで事前のアポをとること。e.sekikawa@koryiyama-kgc.ac.jp		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	講義ガイダンス	授業の進め方やワークシートの活用や自作ノートの作成、成績評価の付け方、班別討議の仕方などを説明する。	予習・復習；自作ノートへの整理・記述	40
2	倫理とは何か	倫理と道徳の違い、倫理の定義、倫理学で大切なこと、規範倫理学・応用倫理学・メタ倫理学の各内容、倫理学と哲学の分かれ目は価値、などを扱う。	予習・復習；自作ノートへの整理・記述	40
3	正義が絶対に正しいことはあるのか	多様性と倫理、善の価値は人により変わる、善とは何か、人間が守るべき正義とは何か、自由はどこまで許されるのか、すべての表現に自由は認められるのか、などを扱う。	予習・復習；自作ノートへの整理・記述	40
4	倫理は一生つきまとう	多数のために少数を犠牲にしているのか、新たな死・脳死どう考えたらいいのか、ドーピングをやっても勝てばいいのか、子育てや介護を他人に任せてもいいのか、自殺をする自由はあるのか、代理母で子どもをもつことはいいのか、などを扱う。	予習・復習；自作ノートへの整理・記述	40
5	人間とはすごい存在なのか	人間とは特別な存在なのか、なぜ人間には権利があるのか、自然を中心とした倫理学とは何か、地球温暖化から成長の限界を考えよう、ライフスタイルを考えるために倫理をしてみる、などを扱う。	予習・復習；自作ノートへの整理・記述	40
6	倫理を通じて社会のルールを考えよう	善い社会とは何か、倫理学で社会を見つめてみる、人間はコミュニティの一員ではないのか、「最大多数の最大幸福」におけるジレンマとは何か、死刑は絶対に必要なのか、ギャンブルに依存して勝手なのか、酒やタバコもやめられない、なぜ倫理学を学ぶ必要があるのか、などを扱う。	予習・復習；自作ノートへの整理・記述	40
7	自己決定権と人間の尊厳（1）	自己決定権とは何か一哲学的根拠、法学的根拠、自己決定権と生命倫理一、問い直される自己決定権などを扱う。	予習・復習；自作ノートへの整理・記述	40
8	自己決定権と人間の尊厳（2）	尊厳という言葉、二つの人間の尊厳観、法・倫理原則としての人間の尊厳、人間の尊厳への関係論的アプローチなどを扱う。	予習・復習；自作ノートへの整理・記述	40

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
9	人工生殖—生命の神秘への挑戦	生命の誕生と不妊、不妊治療と排卵誘発剤、様々な人工生殖技術—人工授精・体外受精・代理懐胎などを扱う。	予習・復習；自作ノートへの整理・記述	40
10	人工妊娠中絶—産まない権利が生れる権利か	わが国の中絶の歴史と中絶法—中絶の歴史と堕胎罪・中絶規制法—、中絶は認められるか—胎児の生命権・女性の自己決定権・残された問題点—などを扱う。	予習・復習；自作ノートへの整理・記述	40
11	医療の法と倫理—患者を支える医療	患者の権利とは何か—患者の権利の歴史・患者の権利の内容・医療行為と法—、ガン告知とホスピス—ガン告知の現状・ガン告知をめぐる裁判と文化、ガン告知のあるべき姿・ホスピス医療の理念と実際—などを扱う。。	予習・復習；自作ノートへの整理・記述	40
12	安楽死・尊厳死—生命の尊重と人間の尊厳	安楽死・尊厳死の定義、安楽死の倫理と法—安楽死の論点・安楽死裁判—、尊厳死の倫理と法—尊厳死の論点・尊厳死をめぐる裁判—などを扱う。	予習・復習；自作ノートへの整理・記述	40
13	脳死・臓器移植—生と死のはざま（1）	脳死とは何か、臓器移植法—脳死の法理・立法までの経過・改正「臓器移植法」とその問題点—などを扱う。	予習・復習；自作ノートへの整理・記述	40
14	脳死・臓器移植—生と死のはざま（2）	脳死は認められるか—脳死説をめぐる賛否論・脳死説の合理性—、なぜ脳死臓器移植は受け入れられないのか—和田心臓移植事件・日本人の死生観と脳死と臓器移植・残された課題—などを扱う。	予習・復習；自作ノートへの整理・記述	40
15	授業のまとめ	講義全体の振り返り、自作ノートに対する評価	予習・復習；自作ノートのチェック	40

<b>科目名</b>	心理学的人間論	<b>対象 単位数 必選</b>	家政学部 人間生活学科生活総合コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択
<b>担当教員</b>	折笠 国康		
<b>開講期</b>	前期		
<b>授業概要</b>	<p>本講義では、「人間」がどのような存在であるか心理学の知見をもとに概説する。「社会心理学」「発達心理学」「人格心理学」などの知見を踏まえ、人間についての心理学的な視点から人間を理解することを目標とする。最終授業で全体に対するフィードバックを行う。☒</p> <p>位置づけ・水準 GU1104☒</p> <p>【履修カルテの評価項目】☒</p> <p>①「自己」に関する心理学的な基本概念をどの程度理解できたか。☒</p> <p>②認知や感情などの「心の発達」に関する心理学的な基本概念をどの程度理解できたか。☒</p> <p>③自己と他者のかかわりに関する事柄の心理学的な基本概念をどの程度理解できたか。☒</p>		
<b>達成目標</b>	<p>本講義では、「人間」がどのような存在であるか心理学の知見をもとに概説する。「社会心理学」「発達心理学」「人格心理学」などの知見を踏まえ、人間についての心理学的な視点から人間を理解することを目標とする。☒</p> <p>単位認定の最低基準は、：「内容の7割を理解していること」☒</p> <p>ディプロマ・ポリシーとの関係：個の確立、人間形成☒</p> <p>【履修カルテの評価項目】☒</p> <p>①「自己」に関する心理学的な基本概念をどの程度理解できたか。☒</p> <p>②認知や感情などの「心の発達」に関する心理学的な基本概念をどの程度理解できたか。☒</p> <p>③自己と他者のかかわりに関する事柄の心理学的な基本概念をどの程度理解できたか。☒</p>		
<b>受講資格</b>	家政学部 人間生活学科 生活総合コース 1年 ☒ 家政学部 人間生活学科 福祉コース 1年 ☒ 家政学部 人間生活学科 建築デザインコース ☒ 家政学部 食物栄養学	<b>成績評価 方法</b>	内容の「70%」以上の理解で合格とするが、「80%程度」の理解を求める。理解度の評価は小レポート30%、試験70%で行う。
<b>教科書</b>	特に指定はない。授業中に資料を配布することがある。		
<b>参考書</b>	必要に応じて紹介する。		
<b>学生への要望</b>	講義への協力的な参加を要望する。☒ 専用のノートを準備すること。		
<b>オフィスタイム</b>	金曜日 2限 835☒ 3限 835		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	オリエンテーション、心理学とは	この授業の目的と授業方針を理解する。心理学的な思考や考察が果たす役割を理解する。	復習：授業内容をまとめ、必要に応じ参考文献にあたる	60
2	人間の発達(1) ー発達心理学ー	人間の発達や成長に関して、心理的な知見や理論を学び理解する。	復習：授業内容をまとめ、必要に応じ参考文献にあたる	60
3	自己とは(1) 認知について	認知心理学の基礎を学び、自己に対する認識について理解する。	復習：授業内容をまとめ、必要に応じ参考文献にあたる	60
4	自己とは(2) 認知について	ピアジェの認知の発達に関する理論を学び理解する。	復習：授業内容をまとめ、必要に応じ参考文献にあたる	60
5	自己とは(3) 自我同一性	自我同一性を中心に心理学的な枠組みで自己とは何かを理解する。	復習：授業内容をまとめ、必要に応じ参考文献にあたる	60
6	自己とは(4) 自己概念	心理学的な構成概念としての自己概念の理論的枠組みを理解する。	復習：授業内容をまとめ、必要に応じ参考文献にあたる	60
7	自己とは(5) 自尊感情と自己評価	自尊感情や自己評価に関する心理学的知見を概観し理解する。	復習：授業内容をまとめ、必要に応じ参考文献にあたる	60
8	自己とは(6)	「本当の自分」に関して、心理学的知見から理解する。	復習：授業内容をまとめ、必要に応じ参考文献にあたる	60
9	自己とは(7) 自己受容	C.ロジャースの理論を用いて、自己受容について理解する。	復習：授業内容をまとめ、必要に応じ参考文献にあたる	60
10	自己とは(8) 防衛機制	A.フロイトによる防衛機制の概念を学び、自己についての理解を深める。	復習：授業内容をまとめ、必要に応じ参考文献にあたる	60
11	自己とは(9) 交流分析	自己についてエゴグラムを用いた交流分析によって理解する。	復習：授業内容をまとめ、必要に応じ参考文献にあたる	60
12	動機づけの理論	内発的動機づけに関する自己決定理論の概略を理解する。	復習：授業内容をまとめ、必要に応じ参考文献にあたる	60
13	人間と社会(1) アドラー心理学	アドラー心理学を概観し、人間の行動に関しての目的について理解する。	復習：授業内容をまとめ、必要に応じ参考文献にあたる	60
14	人間と社会(2) アドラー心理学	アドラー心理学を概観し、人間の行動に関しての目的について理解する。	復習：授業内容をまとめ、必要に応じ参考文献にあたる	60
15	本講義のまとめ	試験を実施し、本講義の振り返りを通して心理学的な人間論を復習する。	復習：授業内容をまとめ、必要に応じ参考文献にあたる	60

科目名	生物学的人間論	対象 単位数 必選	家政学部 人間生活学科生活総合コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択
担当教員	諏訪 雅貴		
開講期	後期		
授業概要	<p>ヒトは、多くの生物の中の1種であり、哺乳類の中の1種ですが、その一方で、ヒトは自ら野生から離れてコミュニティを形成し、社会を発展させ、文化的な生活を送るようになりました。その一結果、他の野生動物とは異なる変化が起きてきました。この進化は、飼育下の動物、つまり、家畜、ペット、動物園の動物の変化と類似していることから、「自己家畜化」と呼ばれることがあります。☒</p> <p>本講義では、ヒト特有の変化である「自己家畜化」の観点から、ヒトが作った生活環境に適応した人間（現代人）の生物学的特徴と社会的な意味を考えていきます。☒</p> <p>レポート課題を添削して返却し、フィードバックするので、復習に活用してください。☒</p> <p>☒ 位置づけ・水準 GU1105</p>		
達成目標	<p>現代社会で生きていく上での生物としてのヒトの特徴を知り、その対処法を自ら考えることができるようになることが、この授業の目標です。60点以上で単位を認定します。☒</p> <p>ディプロマポリシーとの関係：個の確立、人間形成</p>		
受講資格	なし	成績評価 方法	授業中の小レポート（40点）と、最終レポート課題（60点）を課す（合計100点満点）。
教科書	なし（授業ごとにプリントを配布）		
参考書	授業内で紹介します。		
学生への要望	授業中に、アンケート等を行うこと、学生から意見を聞くこと、学生同士で意見交換を行うこと、簡単な体操を行うことなどがありますので、積極的に取り組んでください。		
オフィスタイム	水曜日の1・2限目 木曜日の4限目☒ 担当教員研究室（家政学館3階 生理学・食品衛生学研究室）		

## -授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンスおよび自己家畜化について	本講義全体の概要についてまず説明します。 「自己家畜化」は、野生から切り離されたヒトの生物学的な特徴であり、現代社会の健康問題と関連しています。現代社会の便利さとその心身への影響にどのようなものがあるかを考えてみます。	昔（例えば、縄文時代）と現代の暮らしを比較してみましょう。その便利さと心身に及ぼす影響を考えてみてください	30
2	形態の変化（1）	飼育下の動物（家畜、ペット、動物園の動物）は、野生動物よりも体重が重いです。これを、現代人と昔の人に当てはめて考えてみます。	なぜ、家畜は野生動物よりも体重が重いのか、理由を考えましょう。	30
3	形態の変化（2）	ヒトや家畜の体重が増加する原因を予測し、その確認方法と結果の見方を学びます。また、これを自分の生活に当てはめて考えます。一方で、「痩せ」というさらに進化した自己家畜化も生じています。この状況に状態について、男女差や加齢の影響も含めて学びます。	自分の身体組成の現状と理想とのギャップについて、考えてみましょう。	30
4	形態の変化（3）	野生から隔離された現代社会で生活していくうち、立ち方、座り方、姿勢といった体重以外の形態にも変化が起きています。これらは、外見の良し悪しの問題だけではなく、心身に影響を及ぼすことがあります。自分の現状を把握し、対処方法を学びましょう。	普段の立ち方、座り方と現代社会の生活の因果関係について考えてみましょう。	30
5	長寿化（1）	野生動物には高齢動物がいませんが、飼育下の動物は、野生動物の2倍以上も長生きすることがあります。ヒトでも同様に平均寿命は延び続けています。長寿化の社会的背景と意味について考えていきます。	自分にとって、長寿とは何か、講義の前後で考えましょう。	30
6	長寿化（2）	長寿化には老化が伴います。 まず、老化の意味を確認し、野生動物には見られない老化現象のうち、筋骨格系の変化と社会生活との関係について学びます。	「老化」と「加齢」はどう違うのか、まとめておいてください。	30
7	長寿化（3）	老化のうち、脳神経系の老化と社会のかかわりについて学びます。 また、老化予防や寿命の伸展について学び、ヒトと動物での違いについても考えてみます。	老化現象について授業で学んだことをまとめ、さらに授業内容以外の老化についても調べましょう。	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
8	立たない・歩かない	野生動物は生命を維持するために移動しなければなりません。家畜は移動しなくても生き続けることができます。ヒトも、昔に比べて動かなくなっています。この、「立たない、歩かない」ことの意味について考えます。	立たない、歩かない生活が、ヒトにどのような生物学的変化を与えたのかを考えましょう。	30
9	虚弱化	家畜は、野生動物ではみられない病気になったり、体力が低かったりします。これらの現象は、現代人にもみられます。現代社会のシステムに伴う進化としての虚弱化と対処を考えます。	自分の生活習慣の中で、虚弱化の原因となっているものがないか、考えてみましょう。	30
10	サーカディアンリズムの乱れ	地球は、24時間周期で自転しており、野生動物はその周期に近いリズム（サーカディアンリズム）で行動しています。一方、現代人は、自己家畜化によりサーカディアンリズムに逆らった行動を行い、心身の変化が起きることがあるので、このことについて考えます。	自分の生活習慣とサーカディアンリズムにの関係を考えましょう。	30
11	性成熟・性行動の変化、異常行動	家畜化された動物は、性成熟が早く、野生動物とは異なる性行動を行うことがあります。また、野生動物には見られない異常行動をおこすことがあります。現代人でも、家畜化された動物と類似した現象がみられ、犯罪にもつながっていることについて学びます。	人間は犯罪を犯すことがあります。過密状態で管理された現代社会特有の犯罪にどのようなものがあるか、考えてみましょう。	30
12	嗜好品の利用（1）	嗜好品は、生命の維持には不要であるため、野生動物は利用しませんが、ヒトは利用します。いくつかの嗜好品について、なぜヒトがそれらを利用するのか、意見を出し合い理由を考えてみます。	ヒトがなぜ嗜好品を利用するのか、自分の考えをまとめておいてください。	30
13	嗜好品の利用（2）	前回に続き、いくつかの嗜好品について、なぜヒトがなぜヒトがそれらを利用するのか、理由を考えてみます。	今後の人生において、嗜好品とどのように付き合っていけばよいのかを考えておきましょう。	30
14	社会ストレスと心身一如	動物は生命の危機を感じると、ストレス反応により対処し、生命の維持を行おうとします。一方、現代人は、社会ストレスに対してもストレス反応が起き、この状態が継続すると疾病の原因となることもあります。現代社会におけるストレスの意味について、確認します。	「ストレス」という言葉を正しく理解できるように調べておきましょう。	30
15	ヒトや社会の進化と健康意識	本講義の全体のまとめとして、社会が進化していくにつれて、疾病構造や人間の健康意識も変化していき、あいまいな不安を抱えながら生活している人が増えています。この社会のなかで、個々がどのように対処していけばよいのかについて考えます。	自分がどのような健康意識を持っているのか、あるいは、健康意識を持っていないのか、考えてみましょう。	30

科目名	生活学的政治論	対象 単位数 必選	家政学部 人間生活学科生活総合コース 1年 2単位 必修/家政学部 人間生活学科福祉コース 1年 2単位 必修/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 1年 2単位 必修/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 必修
担当教員	影山 彌		
開講期	前期		
授業概要	<p>今日、私達の生活における、最も顕著な特色は、「生活の外部化」といわれる現象である。それは、工業化という大きな経済的变化の中で起こったといえるが、元来、「家庭の生活機能」である、衣・食・住、暮らし、保育、教育、娯楽、扶養、燃料、飲み水などが、企業の商品、行政サービスなどによって取って代わられつつある状況を、「生活の外部化」という。従って、今日、私達の生活の充実を考える上で、政治や行政が大きな焦点になる。本講義では、様々なテーマを通して、生活と政治との関わりを考える。☑</p> <p>・最終授業で全体に対するフィードバックを行います。☑</p> <p>☑ 位置づけ・水準 GU1105</p>		
達成目標	<p>今日の生活にとって、政治の働きが不可欠であることを理解できること。☑</p> <p>・単位認定の最低基準は、内容の7割を理解していること。☑</p> <p>・ディプロマ・ポリシーとの関係：他との協調、人間形成</p>		
受講資格	人間生活学科（生活総合コース・福祉コース・建築デザインコース）・食物栄養学科	成績評価 方法	受講態度（20％）、テスト結果（80％）
教科書	<p>特になし。☑</p> <p>毎時間授業内容のレジュメを配布する。</p>		
参考書	前田繁一編著『現代と政治学』法律文化社		
学生への要望	授業目標を毎回確認すること。		
オフィスタイム	<p>金曜日を除く昼休み（12:00～12:50）☑</p> <p>創学館4階No.2研究室☑</p>		

## -授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	政治化の時代について	①福祉、暮らし、生活環境など、多様な要求が政治に対して向けられていること、②政治の場において要求間の対立が起こること、③政治によって生活が管理されていること、これらの3つから、生活と政治の深い関わりをもつ現代について、政治化の時代と呼ぶ。	講義資料について復習する。	60
2	政治的無関心について	政治化の時代であるにもかかわらず、かなりの政治的無関心層が存在する。現代型政治的無関心といわれる、①脱政治的無関心、②無政治的無関心、③反政治的無関心、について説明し、政治的無関心の功罪について考える。	講義資料について予習・復習する。	60
3	政治を理解する枠組み（1）	政治とは、国民の要求・支持を受けて、法律や政策を作り出すことであることを理解する。このことによって、生活と政治との関連として正しく理解する。	講義資料について予習・復習する。	60
4	政治を理解する枠組み（2）	国民の要求・支持を受けて、法律や政策が形成される過程について、そこに参加する個人、政治団体、機構などを理解する。	講義資料について予習・復習する。	60
5	食の安全について	01年9月、日本で初めて確認された、牛海綿状脳症（BSE）を中心に考える。対策として実施された、全頭検査、飼料規制、食品安全基本法の制定、食品安全委員会、米国産牛肉の輸入条件などについて解説する。	講義資料について予習・復習する。	60
6	食糧自給率の問題（1）	先進国で最低であるわが国の食糧自給率をめぐって、その主たる原因である食生活の欧米化や、戦後の農業基本法農政、などについて解説する。	講義資料について予習・復習する。	60
7	食糧自給率の問題（2）	今後の最大の問題である、農産物の完全自由化をめざす環太平洋パートナーシップ協定（TPP）の内容を説明し、それが、わが国の食糧自給率に与える影響について考える。	講義資料について予習・復習する。	60
8	暮らしの問題（1）	増え続ける低所得層の現状を捉える。そのために、国民の相対的貧困率の上昇、若者の低所得層の問題、非正規雇用者の増大、労働者派遣法の制定と規制緩和、などについて説明する。	講義資料について予習・復習する。	60
9	暮らしの問題（2）	最後の安全網（セーフティネット）といわれる生活保護の受給世帯及び受給者が急激に増大している。こうした状況をうけて、生活保護制度の概要、現状及び課題について解説する。	講義資料について予習・復習する。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
10	暮らしの問題 (3)	子供の貧困が注目されてきており、それは先進国の中でも高い水準にある。子供の貧困の現状と、その子供の成長に与える様々な影響について考える。また、子供の貧困に対する、わが国の政策の現状と問題点について解説する。	講義資料について予習・復習する。	60
11	少子化の問題	わが国の少子化は歯止めがかからず、むしろ次の4点から深刻化の事態にあるといえる。①日本の総人口の減少、②合計特殊出生率の低下、③未婚率の増大、④夫婦出生率の低下。こうした深刻な少子化の事態について、少子化の社会的、経済的影響、少子化の原因、少子化対策の現状及び有効な少子化対策について考える。少子化を止めたフランスの少子化対策についても解説する。	講義資料について予習・復習する。	60
12	高齢者介護の問題	現在、わが国は、超高齢社会といわれている。それにとともに、要介護高齢者が増大し、介護の問題が国民的課題となっている。これをうけて、'00年4月、介護保険制度がスタートし、社会全体で介護の問題に当たることにした。介護保険制度の概要、現状及び課題などについて解説する。	講義資料について予習・復習する。	60
13	生活の充実を目指す政策体系	今日、工業化にともなう都市化により、都市的生活様式が全般化している。こうした現状のなかで、生活の充実のための政策体系として、シビル・ミニマムが提起されている。それは、Ⅰ社会保障、Ⅱ社会資本、Ⅲ社会保健、の3つから構成されている。それぞれの具体的内容、生活の充実との関連及び地方政治との関連性、などについて解説する。	講義資料について予習・復習する。	60
14	公的年金制度について	シビル・ミニマムの柱の一つである社会保障の中の公的年金制度について、老後の生活を支える国民年金、厚生年金、共済年金の概要と現状について説明する。	講義資料について予習・復習する。	60
15	社会資本・社会保健について	シビル・ミニマムの二つの柱である社会資本・社会保健について、この二つが特に生活の質の向上に寄与する、快適で、健康的で、安全な生活環境を整備する条件であることを捉える。アクティブラーニングを実施する。	講義資料について予習・復習する。	60

科目名	生活学的法律論	対象 単位数 必選	家政学部 人間生活学科生活総合コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択
担当教員	鈴木 康元		
開講期	後期		
授業概要	(授業の目的・ねらい) ☑ 民法のうち「家族法」という分野につき基本的な知識を身につける☑ (授業全体の内容の理解) ☑ 家族法の基本知識を教え、成年後見制度等についても理解してもらう☑ (授業終了時の達成課題(到達目標)) ☑ 婚姻、離婚、親子等について民法上の理解を身につけ日常生活に生かせること☑ 実務経験：弁護士として、法律事務所長として勤務する経験を活かし、授業を行う。☑ 実務経歴：弁護士として、法律事務所長として勤務。		
達成目標	(授業の目的・ねらい) ☑ 民法のうち「家族法」という分野につき基本的な知識を身につける☑ (授業全体の内容の理解) ☑ 家族法の基本知識を教え、成年後見制度等についても理解してもらう☑ (授業終了時の達成課題(到達目標)) ☑ 婚姻、離婚、親子等について民法上の理解を身につけ日常生活に生かせること		
受講資格	家政学部 1年	成績評価 方法	ペーパー試験と出席の程度を考慮する
教科書	その都度指定する		
参考書	その都度指定する		
学生への要望	法律一般につき興味をもって欲しい☑		
オフィスタイト	授業開始前：創学館 2階教務部非常勤講師室☑ 授業終了後		

## -授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	家族法とは	民法における家族法的位置づけと家族の意味	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	30
2	婚姻(1)	婚姻の意味と婚約等	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
3	婚姻(2)	婚姻の効力→婚姻をすると、夫婦はどのような義務を負うのか	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
4	離婚(1)	離婚の意味と実態等について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
5	離婚(2)	離婚の方法と実務から見た問題点について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
6	内縁	内縁の意味とその法的意味	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
7	親子(1)	親子の種別(実子・養子)と法的効果について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
8	親子(2)	親権の意味と内容について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
9	扶養	法律上の扶養義務者と現代的変遷について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
10	相続の基礎	相続の意味と現代的特色	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
11	相続人	誰が相続人になるのか、相続人に相続させたくない場合は	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
12	相続の効力(1)	遺産承継について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
13	相続の効力(2)	相続分と遺産分割について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
14	遺言	遺言の意義・方式等	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
15	成年後見	成年後見制度について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60

<b>科目名</b>	生活学的社会論	<b>対象 単位数 必選</b>	家政学部 人間生活学科生活総合コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択
<b>担当教員</b>	長谷川 貴弘		
<b>開講期</b>	前期		
<b>授業概要</b>	<p>私達は社会の中で生きており、生活と社会は切り離して考えることはできない。☒</p> <p>本授業では、私達が生活している社会が、今現在どのような構造を持ち、どのような状態にあり、どのような課題を抱えているかについて、理解を深め、考察する力を養うことを目的としている。☒</p> <p>まず「社会」という概念について学習し、社会の構造、状態、課題について理解を深めるため、少子高齢化、雇用問題、経済格差、グローバル化等、ニュースや新聞で取り上げられる事象を通じて解説する。☒</p> <p>なお、本講義では、内閣府での勤務経験を活かし、授業の中で統計資料の見方、活用の仕方についても採り上げていく。☒</p> <p>【実務経歴】☒</p> <p>内閣府政策統括官（経済財政分析担当）付参事官（海外担当）付任期付職員として従事。 ☒</p> <p>【課題（小テスト）に対するフィードバックの方法について】☒</p> <p>小テスト採点后、特に誤りが多かった部分についてその後の授業で解説を行う。☒</p> <p>【位置づけ・水準】 GU1018☒</p>		
<b>達成目標</b>	<p>【単位認定の最低基準】 ☒</p> <p>私達が生活している社会が、今現在どのような構造を持ち、どのような状態にあり、どのような課題を抱えているかについて、理解を深め、考察する力を養うことを目標とする。この目標の7割程度の達成をもって単位認定の最低基準とする。☒</p> <p>☒</p> <p>【ディプロマ・ポリシーとの関係】 他との協調、人間形成</p>		
<b>受講資格</b>	家政学部 人間生活学科 1年生 ☒ 家政学部 食物栄養学科 1年生	<b>成績評価 方法</b>	①小テスト30点（15点×2回）☒ ②レポート70点
<b>教科書</b>	プリントを配布する。☒		
<b>参考書</b>	浅野智彦編著「社会学のことが面白いほどわかる本」、中経出版 他		
<b>学生への要望</b>	普段からニュースや新聞で取り上げられる社会の問題について関心を持つようにすること。		
<b>オフィスタイム</b>	火曜日 3コマ 水曜日4コマ☒ 食品経営学研究室		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス	授業の進め方、評価方法について説明する。☒ 『社会』とは何か、今の日本『社会』はどのような状態にあるか、その一例として少子高齢化社会について学修する。☒	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
2	少子高齢化社会と日本と世界①	少子高齢化社会を計る様々な指標について学修し、日本の人口構造と高齢化について概観する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
3	少子高齢化社会と日本と世界②	少子高齢化社会を計る様々な指標について学修し、世界各国の人口構造と高齢化について概観する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
4	少子高齢化社会と日本と世界③	平均寿命、平均余命、健康寿命などの概念、それら指標の現状について概観する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
5	社会と仕事・家族①	家族とその役割について学修する。☒ 家庭において起こる問題—DVと児童虐待について学修する。☒	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
6	社会と仕事・家族②	フリーターとニート、日本の雇用慣行について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
7	社会と仕事・家族③	正規雇用と非正規雇用、働くことの意義について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
8	社会と文化①	癒しと宗教について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
9	社会と文化②	癒しと宗教、社会学から見た自殺問題について学修・考察する。☒テスト（1回目予定）☒	これまでの学修内容をノート・プリントを通じて復習し、小テストに備えること。	60
10	社会と国家①	社会学から見た国家（ルールと権力）、平等な社会と格差について学修する。☒	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
11	社会と国家②	厚生労働省とその取り組み（1）年金制度、社会保障制度、介護保険制度について学修する。☒	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
12	社会と国家③	厚生労働省とその取り組み（2）医療保険制度とその仕組みについて学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてこれまでの学修内容を踏まえ、レポートを作成すること。	60
13	社会と国家④	厚生労働省とその取り組み（3）「健康日本21」等について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてこれまでの学修内容を踏まえ、レポートを作成すること。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
14	社会と国家⑤	「地域保健法」と保健所の役割について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてこれまでの学修内容を踏まえ、レポートを作成すること。	60
15	まとめ	これまでの学修内容の確認と小テストの内容について復習する。小テスト（2回目）	これまでの学修内容をノート・プリントを通じて復習し、小テストに備えること。	60

<b>科目名</b>	生活学的経済論	<b>対象 単位数 必選</b>	家政学部 人間生活学科生活総合コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択	
<b>担当教員</b>	長谷川 貴弘			
<b>開講期</b>	前期			
<b>授業概要</b>	<p>本授業の目的は、生活と密接にかかわる経済の基礎知識の習得と経済学的視点の確立である。不景気・デフレーション・円高・円安・インフレーション・消費生活・生活経済等、普段からニュースや新聞で取り上げられるものであるが、これらの経済的事象は私達の生活と密接にかかわっている。これら経済的事象を経済学的視点で見る目を養うことを本授業の目的としたい。☑</p> <p>なお、在北京日本国大使館経済部での勤務経験を活かし、授業の中で経済統計の見方、マクロ経済の理論と実際について採り上げていく。☑</p> <p>【実務経歴】☑</p> <p>在北京日本国大使館経済部専門調査員として主に中国経済の分析に従事。☑</p> <p>【課題（小テスト）に対するフィードバックの方法について】☑</p> <p>小テスト採点后、特に誤りが多かった部分についてその後の授業で解説を行う。☑</p> <p>【位置づけ・水準】 GU1109</p>			
<b>達成目標</b>	<p>【単位認定の最低基準】☑</p> <p>経済的事象を経済学的視点で見る目を養うことを到達目標とする。この目標の7割程度の達成をもって単位認定の最低基準とする。☑</p> <p>☑</p> <p>【ディプロマ・ポリシーとの関係】 他との協調、人間形成</p>			
<b>受講資格</b>	家政学部 人間生活学科 1年生 ☑ 家政学部 食物栄養学科 1年生	<b>成績評価 方法</b>	①小テスト30点（15点×2回）☑ ②レポート70点☑	
<b>教科書</b>	プリントを配布する。☑			
<b>参考書</b>	伊藤元重「はじめの経済学（上）（下）」日経文庫、他必要に応じ授業の中で紹介する。			
<b>学生への要望</b>	普段からニュースや新聞で取り上げられる経済関連の問題について関心を持つようにすること。			
<b>オフィスタイム</b>	火曜日 3コマ 水曜日4コマ☑ 食品経営学研究室			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス・経済学とは何か①	授業の進め方、評価方法について解説する。☑ 経済学とは何かを説明する第一の例としてインフレーションとデフレーションを取り上げ、両者が私達の生活に与える影響について学修する。☑	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
2	経済学とは何か②	第二の例として円安と円高を取り上げ、両者が私達の生活にどのような影響を与えるのかについて学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
3	経済学とは何か③	経済学をめぐる行われてきた政策論争（自由貿易vs保護貿易）について学修することを通じて経済学への理解を深める。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
4	消費生活と経済①	消費と消費者の概念について、消費者の権利と責任について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
5	消費生活と経済②	様々な消費者問題とクーリングオフについて学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
6	消費生活と経済③	グリーンコンシューマーとフェアトレードの概念について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
7	消費生活と経済④	消費生活と経済について総まとめ。 小テスト1回目	これまでの学修内容をノート・プリントを通じて復習し、小テストに備えること。	30
8	生活と経済－エンゲルの法則と家計調査①	世界と日本の家計研究の歴史について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
9	生活と経済－エンゲルの法則と家計調査②	エンゲルの法則とエンゲル係数の概念について学修する。	これまでの学修内容をノート・プリントを通じて復習しておくこと。	30
10	生活と経済－エンゲルの法則と家計調査③	近年のエンゲル係数の動向について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
11	食料・食品と経済①	食料自給率、食と流通等について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
12	食料・食品と経済②	食と環境、食品廃棄物問題等について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてレポートを作成すること。	60
13	地域経済～郡山市の経済について①	地域経済とは何かを解説した上で、私達が住んでいる郡山市の経済とその特徴について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてレポートを作成すること。	60
14	地域経済～郡山市の経済について②	郡山市の経済とその特徴について学修する（前回の続き）。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてレポートを作成すること。	60
15	まとめ	これまでの学修内容を確認する。 小テスト（2回目）	これまでの学修内容をノート・プリントを通じて復習し、小テストに備えること。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
---	----	------	------	------

科目名	日本国憲法	対象 単位数 必選	家政学部 人間生活学科生活総合コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択
担当教員	鈴木 康元		
開講期	前期		
授業概要	憲法の基本理念と人権の重要性について理解してもらいたい。☑ 履修カルテ評価項目☑ ①近代的意味の憲法の意義、歴史的背景が理解できたか。☑ ②日本国憲法の成立における問題点が理解できたか。☑ ③人権の重要性と制限根拠について理解できたか。☑ 実務経験：弁護士として、法律事務所長として勤務する経験を活かし、授業を行う。☑ 実務経歴：弁護士として、法律事務所長として勤務。☑		
達成目標	憲法の基本理念と人権の重要性について理解してもらいたい。☑ 履修カルテ評価項目☑ ①近代的意味の憲法の意義、歴史的背景が理解できたか。☑ ②日本国憲法の成立における問題点が理解できたか。☑ ③人権の重要性と制限根拠について理解できたか。☑ ☑		
受講資格	家政学部 1年生	成績評価 方法	ペーパー試験(80%)と出席状況(20%)
教科書	憲法【第二版】☑ 弘文堂		
参考書	特に指定しない		
学生への要望	憲法および法律一般につき興味をもって欲しい。		
オフィスタイム	火曜日☑ 授業開始前：創学館 2階教務部非常勤講師室☑ 授業終了後		

## -授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	憲法総論①	憲法を学ぶことの意義、重要性、近代的意味の憲法について☑	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	30
2	憲法総論②	近代的意味の憲法の特徴、日本国憲法の歴史☑	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
3	憲法総論③	国民主権の意義、平和主義（憲法9条の解釈）について☑	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
4	基本的人権①	人権の概念、およびその重要性について☑	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
5	基本的人権②	日本国憲法の人権の内容、人権の享有主体について☑	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
6	基本的人権③	人権の限界、私人間における人権☑	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
7	基本的人権④	包括的基本権（特にプライバシーの権利を中心に）法の下での平等の意義☑	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
8	基本的人権⑤	内心の自由（特に信教の自由を中心に）につき判例をあげながら教える☑	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
9	基本的人権⑥	表現の自由の意義とその優越性について☑	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
10	基本的人権⑦	経済的自由権☑	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
11	基本的人権⑧	財産権☑	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
12	基本的人権⑨	その他の人権について☑	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
13	統治機構①	国会☑	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
14	統治機構②	内閣☑	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
15	統治機構③	裁判所☑	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60

科目名	生活生物学	対象 単位数 必選	家政学部 人間生活学科生活総合コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択
担当教員	源川 博久		
開講期	前期		
授業概要	生活生物学では「生物(生命)とは何か」を理解するために、主に「生物の分類」「細胞生理」「エネルギー代謝」「遺伝」について学ぶ。また、これらを理解する上では化学的な知識も必要となるため、生化学の基礎についても取上げる。☒ 【課題に対するフィードバック】授業中にフィードバックをおこなう。 【位置づけ・水準】GU1111		
達成目標	生活生物学は共通基礎科目として開講されるため、高校では生物や化学といった理系科目を選択しなかった人が、生理学、基礎栄養学、生化学などの専門基礎科目を理解できるように、理系科目の基礎を生物学的観点より理解することを目標とする。☒ 【単位認定の最低基準】授業内容について6割以上理解していること。 【ディプロマ・ポリシーとの関係】他との協調、人間形成		
受講資格	特になし。	成績評価 方法	授業態度(10%)と小テストを含む試験結果(90%)より総合的に評価する。
教科書	uploadされている資料。		
参考書	ホートン生化学 第4版、鈴木紘一ら訳、東京化学同人☒ 視覚でとらえる フォトサイエンス 生物図録、鈴木孝仁監修、数研出版☒ 栄養科学イラストレイテッドシリーズ 生化学、藺田勝 編、羊土社		
学生への要望	生活生物学は高校の生物や化学が基礎となるため、分からない場合は基礎から学習すること。また、関係の深い科目と関連付けをして学習することが望ましい。そのため、分からないことは生活生物学に関わらず質問すること。		
オフィスタイム	水・金曜日 12:10-12:40 栄養化学研究室		

## -授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス	授業の進め方、受講上の注意点、教科書、評価方法などについて理解する。また、生活生物学で取りあげる授業内容について説明する。	uploadされている資料をdownloadし、授業の該当部分を確認する。	60
2	生化学の基礎Ⅰ	生物の生命活動を理解するために、生物を構成する成分ならびに糖質の基礎を確認する。	uploadされている資料をdownloadし、授業の該当部分を確認する。	60
3	生化学の基礎Ⅱ	生物の生命活動を理解するために、タンパク質の基礎を確認する。	uploadされている資料をdownloadし、授業の該当部分を確認する。	60
4	生化学の基礎Ⅲ	生物の生命活動を理解するために、脂質の基礎を確認する。	uploadされている資料をdownloadし、授業の該当部分を確認する。	60
5	生化学の基礎Ⅳ	生物の生命活動を理解するために、核酸と水の基礎を確認する。	uploadされている資料をdownloadし、授業の該当部分を確認する。	60
6	生物の分類	ウイルスと生物の比較、生物の分類を学ぶことで、生物の特徴を確認する。	uploadされている資料をdownloadし、授業の該当部分を確認する。	60
7	原核生物と真核生物	原核生物の特徴を真核生物との相違点を確認し、さらに、真核生物については単細胞生物と多細胞生物に分けて確認する。	uploadされている資料をdownloadし、授業の該当部分を確認する。	60
8	細胞の構成Ⅰ	細胞小器官の機能を学ぶことで細胞機能を理解する。	uploadされている資料をdownloadし、授業の該当部分を確認する。	60
9	細胞の構成Ⅱ	細胞膜の機能を学ぶことで細胞機能を理解する。	uploadされている資料をdownloadし、授業の該当部分を確認する。	60
10	エネルギー代謝Ⅰ	代謝とエネルギー(ATP)の概念を学び、エネルギー代謝の流れを解説する。	uploadされている資料をdownloadし、授業の該当部分を確認する。	60
11	エネルギー代謝Ⅱ	生物に共通する解糖系と好気呼吸について生化学的に解説する。	uploadされている資料をdownloadし、授業の該当部分を確認する。	60
12	エネルギー代謝Ⅲ	生物に重要なその他の代謝系について生化学的に解説する。	uploadされている資料をdownloadし、授業の該当部分を確認する。	60
13	遺伝Ⅰ	セントラルドグマのうちタンパク質合成について学び、遺伝の基礎を理解する。	uploadされている資料をdownloadし、授業の該当部分を確認する。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
14	遺伝II	セントラルドグマのうちDNAの半保存的複製について学び、遺伝の基礎を理解する。	uploadされている資料をdownloadし、授業の該当部分を確認する。	60
15	まとめと試験	これまでの授業のポイントをまとめ、試験にて理解度を確認する。	uploadされている資料をdownloadし、授業の該当部分を確認する。	60

<b>科目名</b>	生活化学	<b>対象 単位数 必選</b>	家政学部 人間生活学科生活総合コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 必修
<b>担当教員</b>	大西 弘太郎		
<b>開講期</b>	前期		
<b>授業概要</b>	生活科学部での専門科目学習において重要な化学系各講義を理解するための化学的基礎学力および知識の修得を目指す。高校化学の復習・補完および教職課程に必要な有機化学、食品化学、環境化学など専門化学系科目の導入知識の修得を目指す。☑ ☑ 実務経歴：医療法人・南労会、社会医療法人・西陣健康会、医療法人・郡山病院などでの実務経験をもとに講義を行う。☑ 実務経歴：医師として医療機関に勤務している。☑ ☑ 随時、小テストを行い、単なる答え合わせだけではなく、解説を行い、全員にフィードバックを行う。☑ ☑ 位置づけ・水準 GU1112		
<b>達成目標</b>	原子の構造と化学結合についての化学的基礎知識を修得する。☑ 化学結合論に基づいた代表的な有機化合物の立体構造の推察力及び表現力を獲得する。☑ 有機化合物の構造と命名法の理解と代表的な有機化合物の命名能力を獲得する。☑ ☑ 単位認定の最低基準：化学的基礎知識が習得されていること。☑ ☑ ディプロマ・ポリシーとの関係：他との協調、人間形成。		
<b>受講資格</b>	人間生活学科生活総合コース 1年☑ 人間生活学科福祉コース 1年☑ 人間生活学科建築デザインコース 1年	<b>成績評価 方法</b>	小テスト (20%) ☑ 筆記試験 (80%)
<b>教科書</b>	なし		
<b>参考書</b>	生理学・生化学につながる ていねいな化学(羊土社)		
<b>学生への要望</b>	講義での学習内容は、高校化学の復習に基づく化学的基礎知識を70%、専門化学系科目の導入知識を30%に設定している。1年後期以降に受講する専門化学系科目の準備として、本講義の学習内容をほぼ完全に理解・修得することが望ましい。☑ 学生の理解度などによりシラバスは適宜変更されることがある。		
<b>オフィスタイム</b>	臨床医学研究室☑ 火曜日 13:00～17:00。☑ 木曜日 15:00～17:00。☑ 金曜日 08:30～17:00。		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	物質の構成と原子構造	物質の構成。☑ 原子構造と周期表。	物質は何でできている？、粒子は常に動いている！、元素と原子と分子ってどう違うの？、荷電って何？、周期表って何？、等々…………。	120
2	化学結合	イオン同士の結びつき、イオン結合。原子同士の結びつき、共有結合。金属同士の結びつき、金属結合。	イオンって何？、イオン結合って何？、共有結合って何？、ファンデルワールスカって何？、金属結合って何？、等々…………。	120
3	物質質量	原子量、分子量、式量。☑ 物質質量と化学反応式。	原子量、分子量、式量って何？、質量って何？、体積、密度って何？、溶媒・溶質・溶液って何？、モル濃度って何？、化学反応式って何？、等々…………。	120
4	酸と塩基。☑ 酸化還元反応。	酸と塩基。酸化還元反応。	酸、塩基とは？、酸・塩基の価数とは？、酸・塩基の強弱は電離度で決まる！、酸性・中性・塩基性、pH、中和、塩って何？。酸化と還元の3つの定義。電池の仕組み。	120
5	酵素反応と酸塩基平衡	酵素反応。☑ 体液の酸塩基平衡。	化学反応にも速度がある、化学反応による熱の出入り、化学反応にはエネルギーが必要、酵素は体内の化学反応を促進する。化学反応には方向性がある、平衡状態が崩れたらどうなるの？、pHの変化をやわらげる働き。	120
6	生体を構成する物質	糖質、脂質、タンパク質、核酸。	からだは有機物で出来ている。	120
7	気体の性質	気体・液体・固体、温度と状態、理想気体方程式。	物質の状態(特に気体について)予習復習をしましょう。	120
8	炭素化合物	アルカン。アルケン。シクロアルカン、シクロアルケン。	それぞれについて予習復習をしましょう。	120

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
9	官能基	アルコールとエーテル。アルデヒド。ケトン。カルボン酸。エステル。アミンとアミド。	それぞれについて予習復習をしましょう。	120
10	芳香族	芳香族化合物。	芳香族について予習復習をしましょう。	120
11	色素	色素。	色素について予習復習をしましょう。	120
12	香り、味	香り、味。	香り、味について予習復習をしましょう。	120
13	高分子	高分子とは何か？。ポリエチレンとその仲間。ナイロンとその仲間。ゴム・プラスチック・合成繊維など。	高分子について予習復習をしましょう。	120
14	環境化学	環境化学。	環境化学について予習復習をしましょう。	120
15	まとめ	総合討論。	講義の内容・程度・分量などについて全体的に討論をしましょう。	120

<b>科目名</b>	生活物理学	<b>対象 単位数 必選</b>	家政学部 人間生活学科生活総合コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択
<b>担当教員</b>	石原 正道		
<b>開講期</b>	後期		
<b>授業概要</b>	生活に関わる現象の物理的な理解を目的とし、様々な現象の状態・変化を記述する物理学を学ぶ。本講義では日常生活で見られる現象に対する物理的な見方を学ぶ。またエネルギー・エントロピーなど、現代社会における重要な概念を学び、社会生活を送る上で適切な判断ができるよう基礎知識を習得する。☑ フィードバックとして理解度確認ペーパーの返却・課題内容の説明等を行う。☑ ☑ 位置づけ・水準 GU1113☑		
<b>達成目標</b>	生活に係わる現象の物理学的理解のために本講義では、(1) 基礎的な用語を理解していること、(2) 基本的な物理量の定量評価ができること、(3) 日常現象の物理的な説明ができること、を目標とする。☑ ☑ 単位認定の最低基準：内容の7割を理解していること☑ ディプロマ・ポリシーとの関係：他との協調、人間形成		
<b>受講資格</b>	なし。	<b>成績評価 方法</b>	課題(理解度の確認) 2回・理解度確認ペーパーの提出による。配点割合は課題が各 40%、理解度確認ペーパーの提出を 20% とする。なお課題は得点分布などを加味し、平均点などの調整を行うことがある。課題実施時の持ち込みは、自筆記入による A4 用紙 1 枚 (表裏記入可) のみに限る。成績評価の観点から、1) 基礎的な用語の理解、2) 基本的な物理量の定量評価、3) 日常現象の物理的な説明ができることである。
<b>教科書</b>	適宜プリントを配布する。		
<b>参考書</b>	・横田 俊昭, ぶつり学, 共立出版株式会社 (1993)☑ ・数研編集部 編, 物理図録, 数研出版 (平成 18 年)☑ ・志村史夫, いやでも物理が面白くなる, 講談社 (2001)		
<b>学生への要望</b>	基本的な数式の扱いに慣れておくこと。また内容が多岐に渡るため、参考書などを利用し理解を深めよう努めること。☑		
<b>オフィスタイト</b>	水曜日 14:30-16:00, 情報処理教育研究室☑ 金曜日 14:30-16:00, 情報処理教育研究室☑ 他の時間でも構わないが、アポイントメントがあると確実に対応できる。☑ アポイントメント用連絡先 m_isihar@koryama-kgc.ac.jp		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	イントロダクション	授業の目標・内容・成績評価の方法を提示する。また本講義を受ける上で前提とする数学のレベルを提示し、次週以降の準備として比率・指数・接頭辞・比例と反比例に関する復習を行う。	本時の復習として、指数法則・負の整数乗・分数乗および比例と反比例における変数間の関係を確認すること。	30
2	スカラーとベクトル	物理学で必要となるスカラーとベクトルの概念、演算法則、具体例を学ぶ。物理学で重要な量に位置や速度があるが、これらはベクトル量であることを理解し、速度が(ベクトルとしての)位置の変化量に関係することを学ぶ。	本時の復習として、ベクトルの演算法則を確認すること。また位置がベクトルとして表現されること(位置ベクトル)と位置ベクトルの変化が速度と関係することを確認すること。 ※理解度確認ペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	30
3	ニュートンの3法則(慣性の法則・作用反作用の法則)	運動方程式に現れる量は加速度であるため、まず加速度とはどのように定義される量か、位置と速度の関係を参照することで理解する。また運動を理解する上で重要なニュートンの3法則を学ぶ。ここでは慣性の法則と作用・反作用の法則について学ぶ。授業内で押し合いなどの体験を通して、作用・反作用の法則の内容を理解する。	本時の予習として、位置と速度の関係を確認しておくこと。本時の復習として、速度と加速度の関係が位置と速度の関係と同一であることを確認すること。さらに2つの相互作用する物体間の力を図示してみることに。 ※理解度確認ペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	45
4	ニュートンの3法則(運動方程式)	ニュートンの3法則の一つである運動方程式について学ぶ。概念を理解するため質量が一定の場合に成立する運動方程式を導入する。次に運動量の概念を導入し、質量が変化する場合にも対応できる運動方程式(ニュートンの運動方程式)を導入する。さらに具体例により運動量の変化と力の関係を理解する。また導入された運動量に対する保存則(運動量保存則)が成立することを示し、具体例を通して運動量保存則の意味を理解する。	本時の復習として、ニュートンの3法則の内容を確認すること。また運動量の定義および運動量保存則の意味を確認すること。 ※理解度確認ペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	90

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
5	角運動量	角運動量とはなにか定義し、角運動量が保存則（角運動量保存則）していることを理解する。角運動量保存則により、スケートのスピンのようなことが理解できることを示す。また角運動量を変化させる力であるモーメントあるいはトルクを導入し、道具や機器とモーメントの関係を理解する。バットなどを用いて、回転の中心からの距離がモーメントに影響することを体感し、モーメントの意味を理解する。	本時の復習として、角運動量とモーメントの定義および各運動量保存則の意味を確認すること。また角運動量保存則の意味と具体例を確認すること。 ※理解度確認ペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	60
6	仕事とエネルギー	仕事の概念を導入する。また単位時間あたりの仕事を意味する仕事率を定義する。これらの仕事の概念からエネルギーの概念を導出する。過程によらずエネルギーは保存すること(エネルギー保存則)を示し、具体的な例として位置エネルギー(水力発電などが該当)や運動エネルギーを学ぶ。また具体的な例によってエネルギーの量がどの程度であるのか概算する。	本時の復習として、仕事とエネルギーの関係を確認すること。またエネルギー保存則と日常の現象との関係を確認すること。 ※理解度確認ペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	45
7	圧力	日常では力の概念を用いるより、力を平均化した圧力を用いる方が有効な場合がある。ここでは圧力を定義し、体重による圧力や大気圧の概算を行い、日常の圧力がどの程度であるのかの感覚を掴む。また体重による圧力や水圧に関する簡易実験などを行い、圧力に起因する現象や圧力を利用した装置などについても学ぶ。	本時の復習として、圧力の定義を確認すること。また圧力の単位の関係を整理すること。 ※理解度確認ペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	45
8	物質の三態	熱力学を理解する上で有用な気体の性質について学ぶ。理想気体の法則であるボイル・シャルルの法則を学び、状態方程式の概念を掴むこととする。物質の三態(気体・液体・固体)を理解し、温度が一定であっても圧力により様々な状態を取ることを学ぶ。またこれらの相の変化(相転移)の概念を学ぶ。	本時の復習として、状態方程式で関係づけられる物理量を確認すること。また相図から、実現される相(気体・液体・個体)は圧力や温度に依存していることを確認すること。 ※理解度確認ペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	20
9	熱力学の法則	熱を扱う学問を熱力学と呼ぶ。熱とは何かを理解し、熱力学の基本法則の一つである熱力学第一法則(熱を含むエネルギー保存則)を学び、エネルギーとの関係で比熱を理解する。また熱機関の考えを通じ、熱力学の基本法則の一つである熱力学第二法則(エントロピー増大の法則)を学ぶ。エントロピーの概念の概略を掴み、自然の変化の方向がエントロピーによって定まっていることや環境問題とエントロピーの関係を理解する。	本時の予習として、エントロピーという単語を調べる。また本時の復習として熱力学の第一法則と力学的なエネルギー保存則の違い、および熱力学第二法則の意味を確認すること。 ※理解度確認ペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	60
10	課題1	これまでの内容理解を確認するための課題を行う。課題実施後にこれまでの内容について整理する。	本時の予習として、これまでの内容を整理すること。本時の復習として、課題実施後に説明した内容について再確認すること。	120
11	波	波の基本的な特徴や性質について学ぶ。波の物理的特徴である振幅・波速・波長およびこれらと関係する振動数(周波数)について理解する。さらに縦波と横波の差異や波の性質として重要な、干渉(重ね合わせの原理)、回折、屈折、反射などについても学ぶ。	本時の復習として、波の物理的特徴を全て整理すること。また波の性質も列挙すること。 ※理解度確認ペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	20
12	音波と知覚	音波は(空気とは限らない)物質の疎密波である。まず様々な物質中の音の速さや温度依存性を学ぶ。音波も波であるから、波の特徴である干渉・反射・屈折・回折という性質を有する。これらの特徴が音のどのような性質として現れるかについて学び、さらに日常でも確認できるドップラー効果について学ぶ。これらの物理刺激を人間がどのように捉えるかを法則としてまとめたウェーバ・フェヒナーの法則を学び、デシベルの考え方を理解する。また音の物理的性質と人間の感じる音の性質の違いについて触れる。	本時の復習として、音波とはどのような波であるか確認すること。また波の性質がどのように現れているか確認すること。さらにウェーバ・フェヒナーの法則の意味を確認すること。 ※理解度確認ペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
13	光	日常にありふれている光は、突き詰めると極めて難しい対象である。ここでは、まず光の波の側面に着目し、光は電磁波であり、横波であることを理解する。電磁波はその波長(あるいは周波数)によって特性が大きく異なることから、波長・周波数に対応する用途について学ぶ。さらに波の性質である回折・干渉・屈折・反射が光の性質としてどのように現れるか学ぶ。特に光では全反射と呼ばれる現象が見られることを理解し、これらの波の性質を実験を通して理解することとする。また光が横波であることから、光には偏光と呼ばれる光が存在する。偏光とはなにか、偏光板を用いて理解する。	本時の復習として、光がどのような波であるか確認すること。また波長と周波数(振動数)が1対1に対応することを理解しておくこと。加えて波の諸性質について整理しておくこと。 ※理解度確認ペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	60
14	光のスペクトル	波長あるいは周波数に対する光の強度分布を(光の)スペクトルと呼ぶ。スペクトルは光源毎に異なっているため、スペクトルからどのような光源から放たれた光であるか、光源の移動速度はどの程度であるかといった事について判断できる。ここではスペクトルの概念を理解する。理解を深めるために分光器を作成し、太陽光や蛍光灯の光などのスペクトルを確認する。	本時の復習として、スペクトルとは何かを確認すること。また連続スペクトルと線(離散)スペクトルの違いを確認しておくこと。 ※理解度確認ペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	30
15	課題2	これまでの内容理解を確認するための課題を行う。課題実施後にこれまでの内容について整理する。	本時の予習として、これまでの内容を整理すること。本時の復習として、課題実施後に説明した内容について再確認すること。	120

<b>科目名</b>	数理・データサイエンス基礎	<b>対象 単位数 必選</b>	家政学部 人間生活学科生活総合コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択
<b>担当教員</b>	石原 正道		
<b>開講期</b>	後期		
<b>授業概要</b>	この講義では、データを扱うための表現およびデータから情報を抽出する方法を学ぶことを目的とする。従来より様々なデータを処理し、情報を抽出することは重要な作業とされていた。今日では、コンピュータの発達・インターネット等の情報網に発達により大量のデータが得られるようになったことやディープ・ラーニングに代表される情報処理技術の進展により、いかにデータから情報を抽出するかということがこれまで以上に重要となった。これらの情報抽出は統計学を含む数的な扱いに基礎をおいており、昨今の数理データサイエンスを学ぶうえで基礎的な扱いを含むデータ処理を理解しておくことが必須である。以上の事を踏まえ、本講義では、データを扱うための基礎的な数理表現およびデータから情報を抽出する基本的な方法を学ぶ。☑ フィードバックとして、確認ペーパーの返却や中間課題の説明等を行う。☑ ☑ 位置づけ・水準 GU1114		
<b>達成目標</b>	データを扱うための数理表現およびデータから情報を抽出する方法を学ぶための具体的な目標は、☑ 1. データを扱うために必要な数的処理（数の表現・比率・方程式・集合）ができるようになること☑ 2. データの記述方法とデータからの情報抽出（回帰・検定）ができるようになること☑ である。☑ ☑ 単位認定の最低基準：内容の7割を理解していること☑ ディプロマ・ポリシーとの関係：他との協調、人間形成		
<b>受講資格</b>	なし。	<b>成績評価 方法</b>	確認ペーパー・中間演習の結果・レポート課題による。成績評価への割合は、確認ペーパーの提出を20%、中間演習とレポート課題の割合をそれぞれ40%とする。
<b>教科書</b>	テキストを PDF として Web 上で配信する(同PDFの印刷物を授業時に配布する)。		
<b>参考書</b>	前野 昌弘, 三國 彰, "統計解析", 日本実業出版社 (2000); 涌井 良幸, 涌井 貞美, "多変量解析", 日本実業出版社 (2001)		
<b>学生への要望</b>	事前に資料に目を通しておき、理解できない部分を確認しておくこと。		
<b>オフィスタイム</b>	石原：水曜日 14:30-16:00, 情報処理教育研究室☑ 金曜日 14:30-16:00, 情報処理教育研究室☑ 他の時間でも構わないが、アポイントメントがあると確実に対応できる。☑ アポイントメント用連絡先 m_isihar@koryama-kgc.ac.jp☑		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	イントロダクション 整数と有理数	本講義で行う目的・内容・単位数・成績評価方法など説明を行う。基本な数に自然数があり、これを拡張したものが整数である。また整数をさらに拡張すると有理数へとつながる。本時では自然数・整数・有理数間の差異を理解し、その演算規則について学ぶ。	本時の復習として、自然数・整数・有理数の包含関係を再確認してすること。また加減乗除の演算に対し、どの演算において閉じていないのか確認すること。	20
2	巾の演算	積の概念を発展させたものに冪がある。概念的には積と商で理解できるが、冪の演算に習熟すると様々な場面で計算が簡略化される。本時では冪とその演算規則について学ぶ。	復習として冪に関する演算規則を確認すること。また冪を用いた数値の表現について確認すること。	30
3	文字と文字式	数を文字に置き換え抽象化することで汎用性が生じる。本時では文字を用いた抽象化や式の変形などを学ぶ。また文字を使う際の注意点について触れる。	予習として、例題を確認しておくこと。復習として、文字を用いた演算において注意すべき点を確認すること。	60
4	比率	数の概念を有理数へと拡張したことにより、整数比を有理数で表すことができる。これらの比と有理数の関係や割合を表す際に利用するppm やppb などの単位（これでよいか？）について学ぶ。	復習として割合や比率と単位の関係（無次元であること）を確認すること。また百分率などについても確認しておくこと。	45
5	一次関数	一次関数は連続量を扱う数学では基本的な関数である。微分とも関連し応用範囲は広い。本時では一次関数とグラフの関係や回帰式などについて触れる。	復習として、一次関数の各係数の意味、グラフとの関係を再確認しておくこと。	45

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
6	連立方程式とその応用	様々な量の関係を求めようとするとき、連立方程式が現れることがある。本時では、問題から式を構築し得られた方程式を解く方法や、解の検討方法を学ぶ。応用では、具体的な問題を通して連立方程式がどのように現れるのかを知り、立式した連立方程式を解いてその有用性を学ぶ。	復習として、連立方程式の様々な解き方（行列を用いた解き方など）を再確認すること。また立式の過程を再確認すること。	90
7	集合	数学の基礎の一つに集合がある。本時では部分集合や集合の積・和・差などの概念を導入する。また集合演算の基礎であるド・モルガンの法則やその応用方法を学ぶ。	復習として、集合の基本概念（空集合など）および集合間の演算について確認すること。	60
8	課題	これまで学修した内容に対する課題を提示する。本課題を通じ、これまでの学修内容を確実なものにする。	復習として、提示した課題を再度行ってみること。このことにより、理解が不足している部分を確認すること。	120
9	データとその記述	データには様々な種類がある。ここでは統計を適用する上で認識しておくべきデータの種類、基本的な統計量を学ぶ。実際に受講生自身で基本統計量を算出することとする。	復習として、データの種類毎に実例を探してみる。また平均や分散などの特徴を再確認すること。	90
10	相関	二つの事柄に関係があるとき相関があるという。この相関を統計学的に見出す手法について学ぶ。また実際に受講生がデータから相関を算出することとする。	復習として、相関係数の定義を確認すること。また相関関数の値をみることで、あらゆる相関が判断できるわけではないことを確認すること。	45
11	線形回帰	ある変数(目的変数)と残りの変数(説明変数)を回帰式と呼ばれる関係により分析することを回帰分析という。本時では回帰の基本的な考え方を理解した上で、受講生自身により回帰直線を求めてみる。こととする。	復習として、回帰の基本的な考え方を確認すること。また実際に回帰直線を求めることにより、回帰直線の決定の仕方により、目的変数と説明変数の間に非対称が生じうることを確認すること。	90
12	非線形回帰	回帰式を非線形な式(直線でない式)とした回帰を非線形回帰という。一次関数では捉えられない関係を見出すために用いられる。ここでは非線形回帰について学び、非線形回帰を行う方法を学ぶこととする。	復習として、複数の関数を用いて非線形回帰を行ってみること。	90
13	パラメトリック検定	ある仮説が正しいか否かを統計的に調べる方法を検定という。ここでは検定の基本的な考え方を学ぶ。検定する対象により様々な検定方法があるが、本時ではパラメトリックな平均値の検定を学び、受講生自身により平均値の検定を試みる。こととする。	復習として、有意水準やP値など用語の意味を確認すること。また複数のデータで平均値の検定を行ってみること。	90
14	ノンパラメトリック検定と適合度の検定	適当な条件下でないとパラメトリックな検定が使えない。そこでこの条件を満たさなくてもよいノンパラメトリックな検定について学ぶ。また適合度の検定方法についても学ぶ。これらの検定を受講生自らも行い、検定結果を確認することとする。	復習として、講義内で示した例において、数値を変えて適合度の検定を行ってみること。	60
15	まとめ	本科目の総まとめをする。どのような統計手法がどのような目的で使われたのか整理する。また総まとめとなるレポート課題を提示する。	授業内容に則し、課題を実施しレポートとしてまとめること。	300

科目名	国語表現法	対象 単位数 必選	家政学部 人間生活学科生活総合コース 1年 4単位 必修/家政学部 人間生活学科福祉コース 1年 4単位 必修/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 1年 4単位 必修/家政学部 食物栄養学科 1年 4単位 必修
担当教員	真船 均		
開講期	前期		
授業概要	〔授業の目的・ねらい〕 J・ジョイス『ダブリナーズ』（翻訳）をテキストとし、日本語読解の基礎力を身につけ、高度な学術論文の書き方を学びます。これらの学習を通して、課題探求力、問題解決力を養成します。英文学の文章（和訳）の読解と学術論文の書き方の演習を具体的に実践します。課題提出後、フィードバックの時間を設定します。		
達成目標	〔授業の目的・ねらい〕 身につけた日本語読解力と習得した学術論文技術を、将来社会的責任を持ち人間の向上に貢献できるような確かな能力にすることを目標とします。具体的な実践は、英文学の文章（和訳）の読解と学術論文の書き方の演習です。単位認定の最低基準は、内容の7割（8割）を理解していることです。		
受講資格	人間生活学科、食物栄養学科1年	成績評価 方法	①課題60点（15点×4回）☑ 期末試験40点☑ ②期末試験40点☑
教科書	ジョイス作・結城英雄訳『ダブリンの市民』岩波文庫		
参考書	随時紹介します。		
学生への要望	授業へは積極的に関わり、提出物の提出を怠らないようにして下さい。		
オフィスタイム	月曜1限前後。教務部非常勤控室。		

## -授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	オリエンテーション	授業の進め方、評価方法、論文構成を説明する。	配布プリントで授業内容を確認し、ノートを整理する。	60
2	エッセイ・ブックレビュー	レビューとは何かを解説する。	配布プリントで授業内容を確認し、ノートを整理する。	60
3	レビューの実践	課題1として実践する。	配布プリントで授業内容を確認し、ノートを整理する。	60
4	レビューの実践 その2	異なるテキストのレビューを実践する。	配布プリントで授業内容を確認し、ノートを整理する。	60
5	学術論文の構造	5段落論文構成を解説する。	配布プリントで授業内容を確認し、ノートを整理する。	60
6	「イーヴリン」読解	『ダブリン』の「イーヴリン」を読解する。	配布プリントで授業内容を確認し、ノートを整理する。	60
7	「イーヴリン」分析	「イーヴリン」を精読する。	配布プリントで授業内容を確認し、ノートを整理する。	60
8	「イーヴリン」討論	「イーヴリン」討論を行う。	配布プリントで授業内容を確認し、ノートを整理する。	60
9	「本論」の書き方	論文における「本論」を解説する。	配布プリントで授業内容を確認し、ノートを整理する。	60
10	「序論」の書き方	論文における「序論」を解説する。	配布プリントで授業内容を確認し、ノートを整理する。	60
11	「結論」の書き方	論文における「結論」を解説する。	配布プリントで授業内容を確認し、ノートを整理する。	60
12	「下宿屋」読解	「下宿屋」討論を行う。	配布プリントで授業内容を確認し、ノートを整理する。	60
13	「序論・本論・結論」実践	課題2として3分法を実践する。	配布プリントで授業内容を確認し、ノートを整理する。	60
14	「序論・本論・結論」実践 2	異なるテキストの3分法を実践する。	配布プリントで授業内容を確認し、ノートを整理する。	60
15	「要約」とは	学術論文における「要約」を解説する。	配布プリントで授業内容を確認し、ノートを整理する。	60
16	「引用」とは	学術論文における「引用」を解説する。	配布プリントで授業内容を確認し、ノートを整理する。	60
17	「言い換え」とは	学術論文における「言い換え」を解説する。	配布プリントで授業内容を確認し、ノートを整理する。	60
18	「土」読解	「土」討論を開催する。	配布プリントで授業内容を確認し、ノートを整理する。	60
19	「土」分析	「土」の理解を深める。	配布プリントで授業内容を確認し、ノートを整理する。	60
20	TV『カネミ油症事件』鑑賞	食と生活のTVドキュメンタリーを鑑賞する。	配布プリントで授業内容を確認し、ノートを整理する。	60
21	「痛ましい事故」読解	「痛ましい事故」討論を開催する。	配布プリントで授業内容を確認し、ノートを整理する。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
22	「要約」「引用」「言い換え」	課題3として「要約」「引用」「言い換え」を実践する。	配布プリントで授業内容を確認し、ノートを整理する。	60
23	「剽窃」とは	学術論文における「剽窃」を解説する。	配布プリントで授業内容を確認し、ノートを整理する。	60
24	「母」読解	「母」討論を行う。	配布プリントで授業内容を確認し、ノートを整理する。	60
25	「学術論文チェック」とは	「学術論文チェックリスト」を解説する。	配布プリントで授業内容を確認し、ノートを整理する。	60
26	「死者たち」読解	「死者たち」を読解する。	配布プリントで授業内容を確認し、ノートを整理する。	60
27	「死者たち」分析と「議論」	学術論文における「議論」を解説する。	配布プリントで授業内容を確認し、ノートを整理する。	60
28	「死者たち」討論	「死者たち」討論を行う。	配布プリントで授業内容を確認し、ノートを整理する。	60
29	「議論」を含む3分法の実践	課題4として「議論」を踏まえた3分法を実践する。	配布プリントで授業内容を確認し、ノートを整理する。	60
30	学習の振り返り	学習全体を振り返り不足分を補い、到達目標を叶える。	配布プリントで授業内容を確認し、ノートを整理する。	60

<b>科目名</b>	総合英語 I	<b>対象 単位数 必選</b>	家政学部 人間生活学科生活総合コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 1年 2単位 選択短期大学部 専攻科 文化学専攻 1年 2単位 選択
<b>担当教員</b>	J・ティルマント		
<b>開講期</b>	前期		
<b>授業概要</b>	このクラスの目的は、実践的なアプローチをとることによって、書く事、話す事、両方において学生に英語を使う上で、自信をもたせることです。学生は、リスニングと読解の学習のみではなく、グループで自分自身の言葉で会話とコミュニケーションを創作します。学生は、これまでのクラスで勉強した英語を、会話の中で、どのように使用するかその方法を学習します。☒ ☒ Items for use in course evaluations:☒ ① Understanding of the theoretical underlying goals and methods of communication. ☒ ② Developing abilities in initiating, continuing and expanding spoken and written communications.☒ ③ Gaining self-confidence leading to improved communication abilities☒ ☒		
<b>達成目標</b>	授業は二つのパートから構成される。一つはリスニングの練習、A.V.なども使用する。二つの目は会話の練習である。学生は独自の英語による会話を創作し発表する。トピックは、自己紹介、趣味、時間と曜日、買い物、外食、旅行、仕事などである。その他として、ビデオ観賞、小テストなど予定している。		
<b>受講資格</b>	大1年☒ 家政学部 人間生活学科 1年 2単位 選択	<b>成績評価 方法</b>	合計で100になるように、Class work and listening tests 40% presentations 50% 出席率 10%☒
<b>教科書</b>	TBA		
<b>参考書</b>	(none)		
<b>学生への要望</b>			
<b>オフィスタイム</b>	any time I am on campus – usually Tuesday and Wednesday, or john_kgc@hotmail.com		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	Introduction	授業内容についての説明 / 一般的な発音とコミュニケー		0
2	Nice To Meet You☒	Video clip: Supplemental learning through use of video clips and game software		0
3	Favorites	Which Do You Like Best ☒話練習：私の好きなもの		0
4	Review	第1回リスニングテスト (p5-6)		0
5	Times	When Are You Open☒スニング：時間の尋ね方と答え方 / Video clip: Supplemental learning through use of video clips and game software (p9-10)		0
6	What Time is the Movie	会話練習：何時からはじまりますか (何時から開きますか) / 今夜の予定はありますか (p.11-13)		0
7	Review	第2回リスニングテスト (p9-13)		0
8	How Much is This	Shapping: リスニング：これはいくらですか (買い物) / Video clip: Supplemental learning through use of video clips and game software (p19-20).		0
9	I'll Take It	会話練習：それをください.		0
10	Review	第3回リスニングテスト (p19-23)		0
11	Let's Eat	リスニング：外食へ (p24-25) / Video clip: Supplemental learning through use of video clips and game software.		0
12	Ready to Order	会話練習：注文する (p26-27).		0
13	Your Turn	Students begin to prepare an original short skit, or scene, in English, based on the material on pp24~25, that they will present to the rest of the class.		0
14		Presentation practice		0
15	Show Time	Student presentations of original skits or scenes.		0

科目名	総合英語 I	対象 単位数 必選	家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択/短期大学部 専攻科文化学専攻 1年 2単位 選択
担当教員	ダニエル ホーナー		
開講期	前期		
授業概要	<p>Comprehensive English 1 (A) Outline:☑  A. The number (ナンバリング) of this subject is GU1116.☑  B. Instructor has taught English at Koriyama Women's University Attached High School☑  (郡山女子大学附属高等学校) since 1995.☑  C. Students express themselves through a self-introduction in active learning environments.☑  D. Describe characteristics and personalities of others through active learning. ☑  E. Talk about your family and their profiles in active learning group presentations.☑  F. Take a comprehensive written examination.☑  FEEDBACK: Educative feedback is frequently given to students on their conduct, homework, quizzes and tests that is positive, constructive and considers the individuality of each student but also the diversity of all of the students.</p>		
達成目標	<p>1. The main objective is to improve all 4 English skills (reading, writing, listening and speaking) with a focus on English communication and listening through numerous active learning situations.☑  2. Students will learn how to self-evaluate their coursework, ways to improve their ability on homework, quizzes and reports, and how to become active learners to truly increase English proficiency. ☑  3. The minimum standard to receive 2 credits for this subject is to achieve 70% or higher on the overall average of these main criteria: attitude, the quiz, homework and the final test.☑  4. The "Diploma Policy" (DP) for this subject stipulates "Cooperation with Others" and "Human Development."</p>		
受講資格	大1年☑ A・B家政学部 食物栄養学科 ☑ 1年 2単位 選択	成績評価 方法	1. Attitude (10%) ☑ 2. Quiz, Homework (40%) ☑ 3. Final Written Test (50%)
教科書	<p>"Impact Conversation 1" by Kristen Sullivan and Todd Beuckens.☑  Publisher: Pearson and Longman.☑  The textbook can be used for 1 year, e.g., this textbook ☑  can be used for both 総合英語 I and 総合英語 II.</p>		
参考書	Prints produced by the instructor.		
学生への要望	<p>1. Please attend all classes and be active learners during every class. ☑  2. For each hour of lecture by professors, students need 2 hours of preparation and review on their own.☑  3. Always do classwork, coursework and listen to the CD. ☑  4. Study hard for quiz and test.</p>		
オフィスタイム	Office hours are Monday and Wednesday 5th Period (16:10 ~ 17:40), ☑ and by appointment, 創学館 4 F No.3 研究室.		

## -授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	Introduction, Guidance and Unit 1	Guidance about the textbook, tests, quizzes, homework, attendance, etc. Active Learning: Interview classmates to ascertain information about them. Unit 1 - Guess Where I'm From: Pages 8-9, 81, CD Tracks 2-8.☑	Review Unit 1, Listen to CD Tracks 1-8.	120
2	Unit 1 - Conversation Starters	Unit 1 - Guess Where I'm From: Getting background information from others. Watch an Internet video about requesting background information. Active Learning: Share basic personal information in groups. Pages 9-11, 81, CD 2-8.	Review	90
3	Unit 1 - Personal Questions	Unit 1 - Asking Personal Questions: Who are you like? Asking personal questions to classmates. Active Learning: Presentations of detailed personal profiles in groups. Pages 11-12, 81, CD 2-8.	Review	120

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
4	Unit 2 - Comfy Seats	Unit 2 - Comfy Seats: Expressing preferences. Active Learning: Listen to determine entertainment preferences of five people. Pages 13-16, 82, CD 9-15.	Preparation	120
5	Units 2 and 3 - The Art Gallery	Unit 2 Review. Unit 3 - Pastimes: Describing your own pastimes. Watch and practice an Internet video about expressing entertainment preferences. Introduction to additional Internet resources. Active Learning: Pair work to express preferences about genres of music and movies. Pages 17-18, 83, CD 14-22.	Review	90
6	Units 3 and 4 - My Quirky Family	Unit 3 Review. Unit 4 - My Quirky Family: Describing family members and personalities. Active Learning: Presentations on pastimes in groups. Pages 19-23, 84, CD 21-26.	Preparation	120
7	Unit 4 - Family Relationships	Unit 4 - Describing Family Relationships. Active Listening: Listen to determine the feelings and complexities of family relationships. Pages 23-24, 84, CD 23-29.	Review all materials <input checked="" type="checkbox"/> and study for quiz.	150
8	Units 4 and 5 - Scaredy Cat	Unit 4 Review. Unit 5 - Scaredy Cat: Expressing Fears. Researching iconic artists. Active Learning: Presentations in groups about your own family. Pages 24-27, 85, CD 27-30. Take quiz No.1.	Preparation	120
9	Unit 5 - Scaredy Cat	Unit 5 - A Board Game: Playing a game about scary things. Active Learning: Listen to ascertain what people are afraid of. Pages 27-28, 85, CD 30-36.	Review	120
10	Unit 6 - The Commute	Unit 6 - Commutes: Discussing commutes to university. Watch and practice an Internet video about getting around town. Introduce more Internet resources. Active Learning: Interview classmates to learn about their commutes. Pages 29-30, 86, CD 37-44.	Prepare an essay on commutes.	90
11	Unit 6 - Complaints	Unit 6 - Dislikes: Expressing dislikes and complaints. Active Learning: Group discussion on the reasons people dislike commutes. Pages 31-32, 86, CD 37-44.	Review	120
12	Units 1-6 Review	Comprehensive Review of Units 1-6. Complete grammar and conversational exercises to review all the previous units. Active Learning: Presentations in groups about topics and information gleaned from Units 1-6.	Review	90
13	Unit 7 - A Close Shave	Unit 7 - A Close Shave: Talking about dangerous experiences. Active Learning: Listen to determine what kinds of incidents happened to people. Pages 33-36, 87, CD 45-49.	Review	120
14	Unit 8 - Excuses	Unit 8 - Excuses: Expressing healthy habits. Watch an Internet video about various countries and their foods. Active Learning: Conversations in pairs to articulate healthy eating habits. Pages 37-40, 88, CD 50-56.	Preparation	90
15	Comprehensive Review for Final Examination	Conduct a comprehensive review for the final written examination. Active Learning: Group work where students do a cumulative review of the course by asking each other questions from Units 1-8. Pages 9-40, CD 2-56.	Study, review and prepare for final test.	240

<b>科目名</b>	総合英語Ⅱ（ベーシック）	<b>対象 単位数 必選</b>	家政学部 人間生活学科生活総合コース 2年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 2年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 2年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 2年 2単位 選択
<b>担当教員</b>	安田 純子		
<b>開講期</b>	前期		
<b>授業概要</b>	英語は世界で広く使われ、国際コミュニケーションのためにもその必要度は増してきています。☑ 本講座では、英語の理解力を高め総合的な基礎力を養います。☑ 基本テキストは「音読で学ぶ基礎英語」として「ペアワーク」の練習法や音読筆写を取り入れ、各種テーマ（話題）にそって文法事項を学び総合的に基礎的な英語力アップを目指します。日々の生活の中で密着した表現を多く学びます。☑ 最終授業で全体に対するフィードバックを行います。☑ ☑ 位置づけ・水準 GU1201☑ ☑		
<b>達成目標</b>	目標は☑ ①平易な英語の文章（英検3級程度）を読んでおおよその意味を把握できる。☑ ②①レベルの英語を聞いておおよその意味を把握できる。☑ ③基本的な英文の構造や文法をある程度理解している。☑ ☑ 単位民定の最低基準は、内容の7割以上を理解していること。☑ ディプロマ・ポリシーとの関係：人間形成、他との協調（コミュニケーション力、創造的思考力）		
<b>受講資格</b>	・大学2年生以上で総合英語Ⅰの単位が認定されていること。	<b>成績評価 方法</b>	試験50%、豆テスト30%、筆写課題20%
<b>教科書</b>	Let's Read Aloud & Learn English on Campus [SEIBIDO]		
<b>参考書</b>	英語辞典はできるだけ新しく語彙数と用例の多いものを薦めます。		
<b>学生への要望</b>	Students are advised not to miss any class.		
<b>オフィスタイト</b>	Monday and Thursday 1:00pm-4:30pm☑ My Office(Sougakukan Room No.1)		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	Class Introduction	・ Explanation (Contents, The meaning of learning of English, course purpose and exposed goals, evaluation details)☑ ・ Contents (テキストの目次から)	Small Test の準備	60
2	Small Test①②	Small Test①②	Small Test の復習	40
3	Unit1	What's your major?☑ 文法－ (be動詞) 話しかける・自己紹介する☑ Warm-up, Let's Listen, Let's Check & Read Aloud, Grammar, Let's Read, Challenge Yourself, Assignment (Let's Read Aloud & Write)	Warm-up (Vocabulary Preview, Grammar Point)☑ Assignment (Let's Read Aloud & Write) 音読筆写 (3回)	90
4	Unit2	How do you like your new school?☑ 文法－ (一般動詞－現在形) 人を誘う・別れ際の挨拶☑ Warm-up, Let's Listen, Let's Check & Read Aloud, Grammar, Let's Read, Challenge Yourself, ☑ Assignment (Let's Read Aloud & Write)	Warm-up (vocabulary Preview, Grammar Point)☑ Assignment (Let's Read Aloud & Write) 音読筆写 (3回)	90
5	Unit3	Let me introduce a new member to you.☑ 文法－ (一般動詞－過去形) 人を紹介する・驚きを示す☑ Warm-up, Let's Listen, let's Check & Read Aloud, Grammar, Let's Read, Challenge Yourself, Assignment (Let's Read Aloud & Write)	Warm-up (Vocabulary Preview, Grammar Point)☑ Assignment (Let's Read Aloud & Write) 音読筆写 (3回)	90
6	Unit4	how was your Golden Week ? ☑ 文法－ (未来形) 予定を述べる・説明する☑ Warm-up, Let's Listen, Let's Check & Read Aloud, Grammar, Let's Read, Challenge Yourself, Assignment (Let's Read Aloud & Write)	Warm-up (Vocabulary Preview, Grammar Point)☑ Assignment (Let's Read Aloud & Write) 音読筆写 (3回)	90
7	Unit5	I'm looking for a part-time job.☑ 文法－ (進行形) 詳細を尋ねる・理由を述べる☑ Warm-up, Let's Listen, Let's Check & Read Aloud, Grammar, Ret's Read, Challenge Yourself.☑ Assignment (Let's Read Aloud & Write)	Warm-up (Vocabulary Preview, Grammar Point)☑ Assignment (Let's Read Aloud & Write) 音読筆写 (3回)	90

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
8	Unit6	What do you call this in Japanese?☑ 文法－(受動態) 意向を尋ねる・好みを述べる☑ Warm-up, Let's Listen, Let's Check & Read Aloud, Grammar, Let's Read, Challenge Yourself, Assignment (Let's Read Aloud & Write)	Warm-up (Vocabulary Preview, Grammar Point)☑ Assignment (Let's Read Aloud & Write) 音 読筆写 (3回)	90
9	Unit7	Have you been there?☑ 文法－(現在完了形) 経験を尋ねる・提案する☑ Warm-up, Let's Listen, Let's check & Read Aloud, Grammar, Let's Read, Challenge Yourself, Assignment (Let's Read Aloud & Write)	Warm-up (Vocabulary Preview, Grammar Point)☑ Assignment (Let's Read Aloud & Write) 音 読筆写 (3回)	90
10	Unit8	Could you tell me how to get there?☑ 文法－(助動詞) 道順を尋ねる・感謝する☑ Warm-up, Let's Listen, Let's Check & Aloud, Grammar, Let's Read, Challenge Yourself,☑ Assignment (Let's Read Aloud & Write)	Warm-up (Vocabulary Preview, Grammar Point)☑ Assignment (Let's Read Aloud & Write) 音 読筆写 (3回)	90
11	Unit9	What do you want me to do?☑ 文法－(不定詞) 問題点を述べる・依頼する☑ Warm-up, Let's Listen, Let's Check & Read Aloud, Grammar, Let's Read, Challenge Yourself, Assignment (let's Read Aloud & Write)	Warm-up (Vocabulary Preview, Grammar Point)☑ Assignment (let's Read Aloud & Write) 音 読筆写 (3回)	90
12	Unit10	I'm on a tight budget.☑ 文法－(関係詞) 理由を述べる・理解を示す☑ Warm-up, Let's Listen, Let's Check & Aloud, Grammar, Let's Read, Challenge Yourself, ☑ Assignment (Let's Read Aloud & Write)	Warm-up (Vocabulary Preview, Grammar Point)☑ Assignment (Let's Read Aloud & Write) 音 読筆写 (3回)	90
13	Unit11/Exam Prep1	What do you think of this program?☑ 文法－(形容詞・副詞) 意見を尋ねる・励ます☑ Warm-up, Let's Listen, Let's Check & Read Aloud, Grammar, Let's Read, Challenge Yourself, Assignment (Let's Read Aloud & Write)☑ Pre session for Exam planned Week15☑ Review of each lesson (復習)	Warm-up (Vocabulary Preview, Grammar Point)☑ Assignment (Let's Read Aloud & Write) 音 読筆写 (3回) ☑	90
14	Unit12/Exam Prep2	I'm reviewing what I studied.☑ 文法－(接続詞・前置詞) 近況を尋ねる・確信する☑ Warm-up, Let's Listen, Let's check & Read Aloud, Grammar, Ret's Read, Challenge Yourself, Assignment (Let's Read Aloud & Write)☑ Pre session for Exam planned Week15☑ Review of each lesson (復習)	Warm-up (Vocabulary Preview, Grammar Point)☑ Assignment (Let's Read Aloud & Write) 音 読筆写 (3回) ☑	90
15	Examination / Explanation forExamination / Total Review	・ Examination☑ ・ Explanation for Examination☑ ・ Total Review	Examinationの準備☑ 全体の復習とまとめ	120

<b>科目名</b>	総合英語Ⅱ (アドバンス)	<b>対象 単位数 必選</b>	家政学部 人間生活学科生活総合コース 2年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 2年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 2年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 2年 2単位 選択
<b>担当教員</b>	ダニエル ホーナー		
<b>開講期</b>	前期		
<b>授業概要</b>	Outline for "Comprehensive English 2 (Advanced)" - <input checked="" type="checkbox"/> A. The number (ナンバリング) of this subject is GU1202. <input checked="" type="checkbox"/> B. Instructor has taught English at Koriyama Women's University Attached High School <input checked="" type="checkbox"/> (郡山女子大学附属高等学校) since 1995. <input checked="" type="checkbox"/> C. All the lessons for this subject, "Comprehensive English 2," are conducted entirely IN ENGLISH. <input checked="" type="checkbox"/> D. Students will frequently participate in active learning activities. <input checked="" type="checkbox"/> E. Students will express various information in self-introductions. <input checked="" type="checkbox"/> F. Describe hometowns and famous places there. <input checked="" type="checkbox"/> G. Talk about your daily activities using frequency adverbs. <input checked="" type="checkbox"/> FEEDBACK: Educative feedback is frequently given to students on their conduct, homework, quizzes and tests that is positive, constructive and considers the individuality of each student but also the diversity of all of the students.		
<b>達成目標</b>	1. The main objective for "Comprehensive English II" is to improve all 4 English skills (reading, writing, listening and speaking) with a focus on English communication and listening. <input checked="" type="checkbox"/> 2. Students will learn how to self-evaluate their progress and coursework, ways to improve their abilities in the 4 skills, on homework, quizzes, and worksheets. <input checked="" type="checkbox"/> 3. Students will interact in an active learning environment where they frequently express their thoughts and opinions through pair work, groups discussions and presentations. <input checked="" type="checkbox"/> 4. The minimum standard to receive 2 credits for this subject is to achieve 70% or higher on the overall average of these main criteria: attitude, the quiz, homework and the final test. <input checked="" type="checkbox"/> 5. The "Diploma Policy" (DP) for this subject stipulates "Cooperation with Others" and "Human Development."		
<b>受講資格</b>	大2年 <input checked="" type="checkbox"/> 総合英語Ⅱの履修には、総合英語Ⅰの単位認定とその得点が70点以上を必要とします。	<b>成績評価 方法</b>	1. Participation, Attitude (10%) <input checked="" type="checkbox"/> 2. Quiz, Coursework (40%) <input checked="" type="checkbox"/> 3. Final Written Test (50%)
<b>教科書</b>	"Impact Conversation 1" by Kristen Sullivan and Todd Beuckens. <input checked="" type="checkbox"/> Publisher: Pearson and Longman. <input checked="" type="checkbox"/> The textbook can be used for 1 year, e.g., this textbook <input checked="" type="checkbox"/> can be used for both 総合英語Ⅰ and 総合英語Ⅱ.		
<b>参考書</b>	Prints and coursework materials made by the instructor, Daniel O. Horner.		
<b>学生への要望</b>	1. Please attend all classes and be active learners! <input checked="" type="checkbox"/> 2. For each hour of lecture by professors, students need 2 hours of preparation and review on their own. <input checked="" type="checkbox"/> 3. Always do classwork, coursework and listening exercises. <input checked="" type="checkbox"/> 4. Study hard for the quiz and final test.		
<b>オフィスタイム</b>	Monday and Wednesday 5th Period (16:10 ~ 17:40), <input checked="" type="checkbox"/> and by Appointment, 創学館 4 F No.3 研究室.		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	Introduction to "Comprehensive English 2"	Instructor will introduce the goals and requirements for this subject. The grading system will be explained. Then an outline of the themes for this semester will be provided. Active Learning: Do an interview activity to find out classmates' hometowns, future occupations, nationalities, etc.	Preparation Review	120
2	Self-Introductions, Unit 1 <input checked="" type="checkbox"/>	Students will give self-introductions in an interactive environment. Unit 1 - Students will learn phrases used when shopping at a mall, and then use those phrases in active learning shopping skits. Active Learning: Give self-introductions in small groups, and perform shopping skits in pairs.	Preparation	120

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
3	Units 2 and 3 - United States Currency and Fast Food Restaurants	Students will learn about American currency (money). Then they will use the currency to do role-playing exercises at fast food restaurants. Active learning: Role-playing at restaurants using props (menu, American money, etc.) and appropriate English.	Review	90
4	Unit 4 - Home Sweet Home	Students describe their hometowns, talk about experiences abroad, and take a questionnaire about daily activities called, "Can you live without it?" Active learning: Share information about hometowns and travel experience in pairs.	Prepare essay on hometown.	120
5	Unit 5 - I Want to be Diligent!	Students first learn phrases to describe desirable and undesirable personalities. They will listen to descriptions of people from other countries. Finally they will give their opinions on stereotypes of people around the world. Active Learning: State opinions of people around the world in small groups.	Review	90
6	Unit 6 - How often do you study English?	Students will be taught adverbs of frequency. They will also talk about their hobbies in a communicative activity. Active Learning: Interview all classmates about their hobbies.	Review	120
7	Unit 7 - World's Worst/Best Cook	Learn phrases to describe cooking abilities, describe their own cooking abilities, and talk about their favorite foods to cook and favorite foods to eat. Active Learning: Group discussions on what foods are healthy and unhealthy.	Review all materials and study for quiz.	150
8	Unit 8 - Guess what happened!	Friends talk about their unexpected good luck experiences. Talk about lucky and unlucky events in a board game activity. Take quiz No. 1. Active learning: Play an interactive board game with classmates.	Review	120
9	Unit 9 - Internet ESL Activities (Part 1)	Students will enter an ESL Internet website that introduces them to a variety of challenges in the areas of cultural knowledge, vocabulary quizzes, and states in the USA, e.g., Wisconsin. Active Learning: Use interactive Internet websites to learn more English and challenge themselves.	Preparation	90
10	Unit 10 - Internet ESL Activities (Part 2)	Students will continue to explore the ESL website. In pairs, they will focus on the TOEFL exercises. Then each student can individualize her learning by choosing areas on the website that apply to her personal interests. Active Learning: In pairs, quiz each other on English on ESL websites featuring proficiency tests, e.g., the TOEFL and EIKEN.	Review	120
11	Unit 11 - Travel Agency Role-Playing	Students will first learn about the history, culture and historic places in Florida State, USA. Then in pairs, one student will act as an agent in a travel agency, and the other student student will act as a customer asking about Florida. Active Learning: Role-playing at a travel agency.	Review	90

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
12	Unit 12 - The Dream Vacation	Students gather information on a country and places they would really like to visit. Then in small groups, they share that information with other classmates. Active learning: Presentations in small groups about places they want to visit.	Preparation	120
13	Unit 13 - I want to be a superhero. Students express hopes and desires for the future.	Students state dreams and talk about their future jobs. Active Learning: Students share 5 wishes for the future in small groups (3 of the wishes are granted by a "genie in a bottle").	Review	90
14	Unit 14 - My Life: Major Events in my Lifetime	Students complete a comprehensive compilation of the entire coursework to present to their teacher to review for the final test. Active Learning: Students give presentations on the key points they gleaned from this lessons this year.	Prepare for final test.	120
15	Unit 15 - Biographies and Memorable Events, Test Review	Students express memorable events from their lives. Students and instructor will do a comprehensive review for the final test. Active Learning: Students quiz each other in pairs about coursework form this past year.	Study, review and prepare for final test.	240

<b>科目名</b>	実用英語 I	<b>対象 単位数 必選</b>	家政学部 人間生活学科生活総合コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択
<b>担当教員</b>	ダニエル ホーナー		
<b>開講期</b>	後期		
<b>授業概要</b>	OUTLINE OF PRACTICAL ENGLISH 1: ☑ A. The number (ナンバリング) of this subject is GU1117.☑ B. Instructor has taught English at Koriyama Women's University Attached High School☑ (郡山女子大学附属高等学校) for 25 years.☑ C. Students should be able to understand and use language concerning familiar everyday topics, such as starting conversations and describing personalities. They also should be able to give basic personal and family information.☑ EVALUATIONS FOR THIS CLASS:☑ 1. You should be able to give a short clear self-introduction. ☑ 2. You should be able to read smoothly and understand short passages. ☑ 3. You should be able to do basic grammar in the context of spoken and written form.☑ FEEDBACK: Educative feedback is frequently given to students on their conduct, homework, quizzes and tests that is positive, constructive and considers the individuality of each student but also the diversity of all of the students.		
<b>達成目標</b>	ACHIEVEMENT GOALS OF THIS CLASS:☑ 1. The main focus will be to enhance key listening and language proficiency. ☑ 2. Additionally, required quiz and homework will incorporate listening tasks ☑ to evaluate overall comprehension. There will be a cumulative final exam.☑ 3. The minimum standard to receive 2 credits for this subject is to achieve 70% or higher on the overall average of these main criteria: attitude, the quiz, homework and the final test.☑ 4. The "Diploma Policy" (DP) for this subject stipulates "Cooperation with Others" and "Human Development."		
<b>受講資格</b>	大学 1年	<b>成績評価 方法</b>	1. Active, Enthusiasm (10%)☑ 2. Quiz, Homework (40%)☑ 3. Final Cumulative Test (50%)
<b>教科書</b>	Speak NOW 2 ☑ by Jack C. Richards & David Bohlke☑ Publisher: OXFORD		
<b>参考書</b>	Prints produced by the instructor.		
<b>学生への要望</b>	Don't miss class. Be attentive. ☑ Do regular listening of your audio files.☑ Prepare and review 120 minutes for each class.☑ Review all material including textbook, online self-study and supplemental material.		
<b>オフィスタイム</b>	Mondays and Wednesdays, 5th Period (16:10 ~ 17:40), ☑ and by Appointment, 創学館 4 F No.3 研究室. ☑ I'll help you any time you need help!		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	Introduction to Class	Lessons 1-4---FRIENDS & FAMILY---Lesson 1---Where are you from? Pages 2-8, Explain Textbook, Tests, Quiz. Active Learning Explained. External Supplements Explained. Homework, Attendance, etc. I will explain in detail how the online portion of the class will be used.☑	Review the textbook. Read through Scope and Sequence of the textbook. Explain lessons we will do for the class. Show and explain the textbook and the online activities the students will do for the class. Bring textbook to all classes. Bring computer to all classes.	120
2	Lesson 1	Lesson 1---Where are you from?---Listening and Pronunciation. Listen to tracks 2-4. Conversation. Active learning pair work activity. English in Action Video, Page 10. Watch and explain online video.	Review the textbook. Read through pages 2-3. Listen to tracks 2-4. Do vocabulary worksheet 1. Do first online assignment.	120
3	Lesson 2	Lesson 2---I'm tall and thin.---Review Lesson 1---Where are you from?---Listening and Pronunciation. Listen to tracks 5-6. Conversation. Active learning pair work activity.	Review the textbook. Read through pages 4-5. Listen to tracks 5-6. Do vocabulary worksheet 2. Do online assignment.	120

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
4	Lesson 3	Lesson 3---Alice is more serious.---Review Lesson 2---I'm tall and thin.---Listening and Pronunciation. Listen to tracks 7-8. Conversation. Active learning pair work activity.	Review the textbook. Read through pages 6-7. Listen to tracks 7-8. Do vocabulary worksheet 3. Do online assignment.	120
5	Lesson 4	Lesson 4---All of my friends text.---Review Lesson 3---Alice is more serious.---Listening and Pronunciation. Listen to tracks 9-11. Conversation. Active learning pair work activity. Summary review. Pages 10-11. Confidence booster.	Review the textbook. Read through pages 8-9. Listen to tracks 9-11. Do vocabulary worksheet 4. Do online assignment. Review pages 12-13 English in Action online video supplement.	120
6	Lesson 5	Lessons 5-8---RESTAURANTS---Lesson 5---I've never had Thai food.---Listening and Pronunciation. Listen to tracks 12-13. Conversation. Active learning pair work activity.	Review the textbook. Read through pages 12-13. Listen to tracks 12-13. Do vocabulary worksheet 5. Do online assignment.	120
7	Lesson 6	Lesson 6---First, grill the bread.---Review Lesson 5---I've never had Thai food.---Listening and Pronunciation. Listen to tracks 14-16. Conversation. Active learning pair work activity.	Review the textbook. Read through pages 14-15. Listen to tracks 14-16. Do vocabulary worksheet 6. Do online assignment.	120
8	Lesson 7	Lesson 7---The service is great.---Review Lesson 6---First, grill the bread.---Listening and Pronunciation. Listen to tracks 17-18. Conversation. Active learning pair work activity.	Review the textbook. Read through pages 16-17. Listen to tracks 17-18. Do vocabulary worksheet 7. Do online assignment.	120
9	Lesson 8	Lesson 8---Are you ready to order?---Review Lesson 7---The service is great.---Listening and Pronunciation. Listen to tracks 19-21. Conversation. Active learning pair work activity. Summary review. Pages 20-21. Confidence booster.	Review the textbook. Read through pages 18-19. Listen to tracks 19-21. Do vocabulary worksheet 8. Do online assignment. Review pages 20-21 English in Action online video supplement.	120
10	Lesson 9	Lessons 9-12---HEALTH---Lesson 9---I have a sore throat.---Review Lesson 8---Are you ready to order?---Listening and Pronunciation. Listen to tracks 22-23. Conversation. Active learning pair work activity.	Review the textbook. Read through pages 22-23. Listen to audio tracks 22-23. Do vocabulary worksheet 9. Do online assignment. Review English in Action online video supplement.	120
11	Lesson 10	Lesson 10---What should I do?---Review Lesson 9---I have a sore throat.---Listening and Pronunciation. Listen to tracks 24-27. Conversation. Active learning pair work activity.	Review the textbook. Read through pages 24-25. Listen to audio tracks 24-27. Do vocabulary worksheet 10. Do online assignment. Review English in Action online video supplement.	120
12	Lesson 11	Lesson 11---I'd love to try that!---Review Lesson 10---What should I do?---Listening and Pronunciation. Listen to tracks 28-29. Conversation. Active learning pair work activity.	Review the textbook. Read through pages 26-27. Listen to audio tracks 28-29. Do vocabulary worksheet 11. Do online assignment. Review English in Action online video supplement.	120
13	Lesson 12	Lesson 12---Soccer is more exciting!---Review Lesson 11---I'd love to try that!---Listening and Pronunciation. Listen to tracks 30-32. Conversation. Active learning pair work activity. Summary review. Pages 30-31. Confidence booster.	Review the textbook. Read through pages 28-29. Listen to tracks 30-32. Do vocabulary worksheet 12. Do online assignment. Review pages 30-31 English in Action online video supplement.	120

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
14	Lesson 13	Lessons 13-16---JOBS---Lesson 13---I can write pretty well.---Review Lesson 12---Soccer is more exciting!---Listening and Pronunciation. Listen to tracks 33-36. Conversation. Active learning pair work activity.	Review the textbook. Read through pages 32-33. Listen to tracks 33-36. Do vocabulary worksheet 13. Do online assignment. Review English in Action online video supplement.	120
15	Test Review	Textbook Summary, CD Review, Quiz, Conversation. Active learning pair work activity review. Test Preparation & Review.☒	Review the textbook. Read through pages indicated to study for the final test. Listen to all audio tracks indicated during test preparation.	180

<b>科目名</b>	実用英語Ⅰ	<b>対象 単位数 必選</b>	家政学部 人間生活学科生活総合コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択
<b>担当教員</b>	安田 純子		
<b>開講期</b>	後期		
<b>授業概要</b>	英語は世界で広く使われ、国際コミュニケーションのためにもその必要度は増してきています。☑ 本講座では、日常生活における基礎的な英語の理解力を高め英語での表現力を総合的に習得することを目標とします。☑ バランスのとれた英語力習得のために不可欠な文法・語法の着実な理解と英語を聞き話すための耳と口を鍛えます。音読や筆写による練習法も取り入れ、基本をしっかりと身に付けます。☑ 最終授業で全体に対するフィードバックを行います。☑ ☑ 位置づけ・水準 GU1117☑		
<b>達成目標</b>	目標は☑ ①平易な英語の文章（英検3級レベル程度）を読んでのおおよその意味を把握できる。☑ ②①レベルの英語を聞いておおよその意味を把握できる。☑ ③基本的な英文の構造や文法をある程度理解している。☑ ☑ 単位認定の最低基準は、内容の7割以上を理解していること。☑ ディプロマ・ポリシーとの関係：他との協調、人間形成（コミュニケーション力）☑ ☑ ☑		
<b>受講資格</b>	受講資格☑ 人間生活学科1年・食物栄養学科1年以上 ☑	<b>成績評価方法</b>	成績評価方法☑ 試験50%、豆テスト30%、筆写課題20% ☑ ☑ ☑ ☑
<b>教科書</b>	教科書☑ Let's Read Aloud & Learn English [SEIBIDO] ☑ ☑		
<b>参考書</b>	参考書☑ 英和辞典はできるだけ新しく語彙数と用例の多いものをすすめます。 ☑ ☑		
<b>学生への要望</b>	学生への要望☑ Students are advised not to miss any class. ☑ ☑ ☑		
<b>オフィスタイム</b>	オフィスタイム☑ Wednesday 2:30pm -4:30pm and Friday 1:00pm-4:30pm ☑ My Office (Sougakukan Roon No.1) ☑ ☑		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	Class Introduction	・ Explanation (Contents, The meaning of learning of English, course purpose and exposed goals, evaluation details)☑ ・ Contents (テキストの目次から)	small test の準備	60
2	Small Test①②	・ Small Test①②	small test の復習	40
3	Unit 1	・ Pleased to meet you.-出迎え☑ 会話一人を紹介する表現☑ 文法-be動詞☑ *WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point), LET'S LISTEN!, LET'S CHECK & READ ALOUD!, GRAMMAR, LRT'S READ, CHALLENGE YOURSELF!, LET'S READ ALOUD & WRITE!☑	WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point)☑ Assignment (LET'S READ ALOUD & WRITE!) 音読筆写 (3回) ☑	90

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
4	Unit2	・ DO you remember me? -ケイトとの出会い☑ 会話－仕事を尋ねたり、説明したりする表現☑ 文法－一般動詞の現在形☑ *WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point), LET'S LISTEN!, LET'S CHECK & READ ALOUD!, GRAMMAR, LRT'S READ, CHALLENGE YOURSELF!, LET'S READ ALOUD & WRITE!☑ ☑ ☑	WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point)☑ Assignment (LET'S READ ALOUD & WRITE!) 音読筆写 (3回) ☑ ☑ ☑	90
5	Unit 3	・ I spoke to Ms. Hayashi yesterday.-苦情対応☑ 会話－謝罪をしたり、相手の意向を尋ねたりする表現☑ 文法－一般動詞の過去形☑ *WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point), LET'S LISTEN!, LET'S CHECK & READ ALOUD!, GRAMMAR, LRT'S READ, CHALLENGE YOURSELF!, LET'S READ ALOUD & WRITE!☑ ☑ ☑	WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point)☑ Assignment ( LET'S READ ALOUD & WRITE!) 音読筆写 (3回) ☑	90
6	Unit 4	・ Whendoes the meeting start?-会議の準備☑ 会話－場所や時間を尋ねる表現☑ 文法－疑問詞を使った疑問文☑ *WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point), LET'S LISTEN!, LET'S CHECK & READ ALOUD!, GRAMMAR, LRT'S READ, CHALLENGE YOURSELF!, LET'S READ ALOUD & WRITE!☑ ☑ ☑	WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point)☑ Assignment ( LET'S READ ALOUD & WRITE!) 音読筆写 (3回) ☑ ☑	90
7	Unit 5	・ Can you meet me at the airport?-出張打ち合わせ☑ 会話－依頼する際に使われる表現☑ 文法－助動詞☑ *WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point), LET'S LISTEN!, LET'S CHECK & READ ALOUD!, GRAMMAR, LRT'S READ, CHALLENGE YOURSELF!, LET'S READ ALOUD & WRITE!☑ ☑ ☑	WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point)☑ Assignment (LET'S READ ALOUD & WRITE!) 音読筆写 (3回) ☑ ☑	90
8	Unit 6	・ Feel free to ask me anytime.-使用法説明☑ 会話－使い方を説明する表現☑ 文法－文の種類と命令文☑ *WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point), LET'S LISTEN!, LET'S CHECK & READ ALOUD!, GRAMMAR, LRT'S READ, CHALLENGE YOURSELF!, LET'S READ ALOUD & WRITE!☑ ☑	WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point)☑ Assignment (LET'S READ ALOUD & WRITE!) 音読筆写 (3回) ☑ ☑ ☑	90
9	Unit 7	・ I'm thinking about quitting my job.-仕事の悩み☑ 会話－相談したり、励ましたりする表現☑ 文法－進行形☑ *WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point), LET'S LISTEN!, LET'S CHECK & READ ALOUD!, GRAMMAR, LRT'S READ, CHALLENGE YOURSELF!, LET'S READ ALOUD & WRITE!☑ ☑	WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point)☑ Assignment (LET'S READ ALOUD & WRITE!) 音読筆写 (3回) ☑	90
10	Unit 8	・ I'll give her your message.-電話対応☑ 会話－聞き返したり、確認したりなど、電話対応でよく使われる表現☑ 文法－未来形☑ *WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point), LET'S LISTEN!, LET'S CHECK & READ ALOUD!, GRAMMAR, LRT'S READ, CHALLENGE YOURSELF!, LET'S READ ALOUD & WRITE!☑ ☑	*WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point)☑ Assignment ( LET'S READ ALOUD & WRITE!) 音読筆写 (3回) ☑	90

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
11	Unit 9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ I haven't received the latest figures.-会議の準備☑</li> <li>会話－状況を確認したり、作業を指示したりする表現☑</li> <li>文法－現在完了形☑</li> <li>*WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point), LET'S LISTEN!, LET'S CHECK &amp; READ ALOUD!, GRAMMAR, LRT'S READ, CHALLENGE YOURSELF!, LET'S READ ALOUD &amp; WRITE!☑</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point)☑</li> <li>Assignment ( LET'S READ ALOUD &amp; WRITE!) 音読筆写 (3回) ☑</li> </ul>	90
12	Unit10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ The cafeteeria is closed today.-オフィス案内☑</li> <li>会話－場所を聞いたり説明したりする表現、感情を表す表現☑</li> <li>文法－受動態☑</li> <li>*WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point), LET'S LISTEN!, LET'S CHECK &amp; READ ALOUD!, GRAMMAR, LRT'S READ, CHALLENGE YOURSELF!, LET'S READ ALOUD &amp; WRITE!☑</li> <li>☑</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point)☑</li> <li>Assignment ( LET'S READ ALOUD &amp; WRITE!) 音読筆写 (3回) ☑</li> </ul>	90
13	Unit11/ Exam Prep1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ We expect higher sales in China.-会議☑</li> <li>会話－比較したり、詳細を尋ねたりする表現☑</li> <li>文法－比較☑</li> <li>*WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point), LET'S LISTEN!, LET'S CHECK &amp; READ ALOUD!, GRAMMAR, LRT'S READ, CHALLENGE YOURSELF!, LET'S READ ALOUD &amp; WRITE!☑</li> <li>☑</li> <li>・ Pre session for the Exam planned Week15☑</li> <li>Review of each lesson (復習)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point)☑</li> <li>Assignment ( LET'S READ ALOUD &amp; WRITE!) 音読筆写 (3回) ☑</li> <li>☑</li> </ul>	90
14	Unit12/ Exam Prep2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ I'd like to check in.-チェックイン☑</li> <li>*WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point), LET'S LISTEN!, LET'S CHECK &amp; READ ALOUD!, GRAMMAR, LRT'S READ, CHALLENGE YOURSELF!, LET'S READ ALOUD &amp; WRITE!☑</li> <li>☑</li> <li>・ Prep session for the Exam planned Week15☑</li> <li>Review of each lesson (復習)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point) ☑</li> <li>Assignment (LET'S READ ALOUD &amp; WRITE!) 音読筆写 (3回) ☑</li> </ul>	90
15	Examination / Explanation for Examination / Total Review	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Examination☑</li> <li>・ Explanation for Examination☑</li> <li>・ Total Review</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Examination の準備☑</li> <li>・ 全体のまとめと総復習☑</li> </ul>	120

<b>科目名</b>	実用英語Ⅱ	<b>対象 単位数 必選</b>	家政学部 人間生活学科生活総合コース 2年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 2年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 2年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 2年 2単位 選択
<b>担当教員</b>	ダニエル ホーナー		
<b>開講期</b>	後期		
<b>授業概要</b>	<p>COURSE OUTLINE FOR "PRACTICAL ENGLISH 2":☑</p> <p>A. The number (ナンバリング) of this subject is GU1203.☑</p> <p>B. Instructor has taught English at Koriyama Women's University Attached High School☑ (郡山女子大学附属高等学校) since 1995.☑</p> <p>C. Students express themselves through a self-introduction in active learning environments.☑</p> <p>D. Students should be able to understand and use language concerning familiar, everyday topics, such as describing abilities and giving advice. They also should be able to give detailed personal and family information. ☑</p> <p>EVALUATIONS FOR THIS SUBJECT:☑</p> <p>1. The lessons for this subject, Practical English II, are conducted entirely IN ENGLISH!☑</p> <p>2. You should be able to read smoothly and understand shorts passages. ☑</p> <p>3. You should be able to do basic grammar in the context of spoken and written forms.☑</p> <p>FEEDBACK: Educative feedback is frequently given to students on their conduct, homework, quizzes and tests that is positive, constructive and considers the individuality of each student but also the diversity of all of the students.</p>		
<b>達成目標</b>	<p>ACHIEVEMENT GOALS OF THIS CLASS:☑</p> <p>1. The main focus will be to enhance key listening and language proficiency. ☑</p> <p>2. Additionally, required quizzes and homework will incorporate listening tasks ☑ to evaluate overall comprehension. There will be a cumulative final exam.☑</p> <p>3. The minimum standard to receive 2 credits for this subject is to achieve 70% or higher on the overall average of these main criteria: attitude, the quiz, homework and the final test.☑</p> <p>4. The "Diploma Policy" (DP) for this subject stipulates "Cooperation with Others" and "Human Development."</p>		
<b>受講資格</b>	大学2年	<b>成績評価 方法</b>	1. Active, Enthusiasm (10%)☑ 2. Quiz, Homework (40%)☑ 3. Final Cumulative Written Test (50%)
<b>教科書</b>	Speak NOW 2 ☑ by Jack C. Richards & David Bohlke☑ Publisher: OXFORD		
<b>参考書</b>	Prints produced by instructor.		
<b>学生への要望</b>	<p>実用英語Ⅰ is NOT NEEDED to take this lesson.☑</p> <p>Don't miss class. Be attentive. ☑</p> <p>Do regular listening of your audio files.☑</p> <p>Review and prepare at least 120 minutes for each class.☑</p> <p>Review all material including textbook, online self-study and supplemental materials.</p>		
<b>オフィスタイム</b>	Mondays and Wednesdays, 5th Period (16:10 ~ 17:40), ☑ and by Appointment, 創学館 4 F No.3 研究室.		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	Introduction to Class	Review lessons 1-8: FRIENDS, FAMILY and RESTAURANTS. ☑ Introduction to class: Explain Textbook, Quiz, Test, Active Learning Requirements, External Supplements, Homework, Attendance, etc. I will also explain in detail how the online portion of the class will be used.☑	Review the textbook. Read through scope and sequence of the textbook. Explain lessons we will do for the class. Show and explain the textbook and the online activities the students will do for the class. Bring textbook to all classes.	180
2	Lesson 9	Lesson 9 HEALTH - I have a sore throat. Listening and pronunciation: Listen to tracks 22-23. Conversation: Describing health problems. Active Learning: Do pair work activities, watch English in action video. PP 22-23, 30.☑	Review and review the textbook PP 22-25. Listen to tracks 22-25. Review notes taken and prints. Do online vocabulary worksheet. Do additional online homework assignment.☑ ☑	120

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
3	Lessons 10-11	Lesson 10 - What should I do? Lesson 11 - I'd love to try that! Review Lesson 9. Listening and pronunciation: Listen to tracks 24-29. Conversation: Expressing wants and intentions. Active Learning:: Do pair work activities, watch English in action video. PP 24-27, 30.☒☒	Review and read the textbook PP 18-25, 30. Listen to tracks 24-29. Review notes taken and prints. Do online vocabulary exercises. Do online homework assignment.	120
4	Lessons 12-13	Lesson 12 - Soccer is more exciting! Lesson 13 - I can write pretty well. Review Lessons 10-11. Listening and pronunciation: Listen to tracks 30-36. Conversation: Asking for and making comparisons. Active Learning:: Do group work activities, watch English in action video. PP 28-32.☒	Review and read the textbook PP 24-32. Listen to tracks 30-36. Review notes taken and prints. Do online exercises. Do online homework assignment.	120
5	Lessons 14-15	Lesson 14 - I'd have to have "healthy lunches." Lesson 15 - I travel for free. Review Lessons 12-13. Listening and pronunciation: Listen to tracks 37-40. Conversation: Describing pros and cons. Active Learning:: Do pair and group work activities, watch English in action video. PP 34-37, 40.	Review and read the textbook PP 28-37. Listen to tracks 37-40. Review notes taken and prints. Do online vocabulary activity. Do online homework assignment.	150
6	Lessons 16-17	Lesson 16 - Is the manager there? Lesson 17 - That sounds fun! Review Lessons 14-15. Listening and pronunciation: Listen to tracks 41-44, and tracks 1-3 (audio set no. 2). Conversation: Asking about jobs and free time activities. Active Learning:: Do pair work and group presentations, watch English in action video. PP 38-43.	Review and read the textbook PP 34-43. Listen to tracks 41-44, and 1-3 (audio set no. 2). Review notes taken and prints. Do online exercises. Do online homework assignment.	120
7	Lessons 18-19	Lesson 18 - I'd love to go. Lesson 19 - I'm sorry, but I can't. Review Lessons 17-18. Listening and pronunciation: Listen to tracks 4-8. Conversation: Responding to invitations and giving excuses. Active Learning: Do group work with discussions, watch English in action video. PP 42-47, 50.	Review and read the textbook PP 38-47. Listen to tracks 4-8. Review notes taken and prints. Do online vocabulary and worksheets. Do online homework assignment.	150
8	Lessons 20-21 and Review for Quiz	Lesson 20 - Sorry, I'm late. Lesson 21 - Did you go alone? Review Lessons 18-19. Listening and pronunciation. Listen to tracks 9-14. Conversation: Responding to an apology and describing past events. Active Learning: Do pair work using apologies, watch interactive video about past activities.. PP 48-53, 60. Review for the quiz.☒	Review the textbook. Read through pages 16-17. Listen to tracks 17-18. Do vocabulary worksheet 7. Do online assignment. Review for the quiz.	180
9	Lessons 22-23 and Quiz	Lesson 22 - Which do you prefer? Lesson 23 - You must get a visa. Take the first quiz. Review Lessons 20-21. Listening and pronunciation. Listen to tracks 15-19. Conversation: Asking about preferences, obligations and prohibitions. Active Learning: Have discussions in groups about cultural obligations, watch English in action video. PP 54-57, 60.	Review the textbook. Read through pages 48-57. Listen to tracks 15-19. Do online vocabulary worksheet. Do online assignment.	120

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
10	Lessons 24-25	Lesson 24 - When is the next train? Lesson 25 - I usually wear ... Review Lessons 22-23. Listening and pronunciation. Listen to tracks 20-24. Conversation: Describing prices and schedules, and describing articles of clothing. Active Learning: Pair work and group work to describe individual clothing. Have discussions in groups about individual current trends in clothing and accessories, and watch English in action video. PP 58-63, 70.☒	Review the textbook. Read through pages 54-63. Listen to tracks 20-24. Do online exercises. Do online assignment.	120
11	Lessons 26-27	Lesson 26 - What do you think? Lesson 27 - Can you do me a favor? Review lessons 23-24. Listening and pronunciation: Listen to tracks 25-29. Conversation: Asking for and offering ideas. Active Learning: Pair work to make requests and commands and watch English in action video. PP 64-67, 70.☒	Review the textbook. Read through pages 58-67, 70. Listen to tracks 25-29. Do online vocabulary activities. Do online assignment.	150
12	Lessons 28-29	Lesson 28 - What is it used for? Lesson 29 - I think it's fun! Review lessons 26-27. Listening and pronunciation: Listen to tracks 30-33. Conversation: Asking how to use things and giving opinions. Active Learning: Discussions in groups about current events and news followed by presentations. Watch English in action video. PP 68-73, 80.	Review for the final test. Read through pages 2-80. Listen to all previous audio tracks. Do online practice for lessons 28-29. Do online assignment.	150
13	Lessons 30-31	Lesson 30 - I feel the same way. Lesson 31 - What would you do? Review lessons 28-29. Listening and pronunciation: Listen to tracks 34-39. Conversation: Asking about and discussing imaginary situations.. Active Learning: Discussions in groups about possible future situations and technology followed by presentations. Watch English in action video. PP 74-77, 80.	Review for the final test. Read through pages 2-80. Listen to all previous audio tracks. Do online practice for lessons 30-31. Do online assignment.	120
14	Lesson 32 and Final Test Review	Lessons 32 - Then what happened? Review lessons 1-32 for the final test. Listening and pronunciation: Listen to tracks 40-42 and all tracks pertaining to the test. Conversation: Describing a sequence of events that happened. Active Learning: Pair work to find out how each other feels about foods, events, places, etc. Watch English in action video. PP 78-80 and PP 2-80 for final test review.	Do a comprehensive review for the final test. Read through pages 2-80 again. Listen to all previous audio tracks. Do online practice for lesson 32. Do online assignment. STUDY VERY HARD FOR THE FINAL TEST!	240
15	Final Test and Review	First do a comprehensive review of the coursework including the textbook, audio files, prints and notes. Take the final test (test is a cumulative test and covers all previous coursework and materials).	Reflect on the course, organize and file all coursework for future reference, and use the English learned to enhance your future life in areas of work, family and leisure.	120

<b>科目名</b>	実用英語Ⅱ	<b>対象 単位数 必選</b>	家政学部 人間生活学科生活総合コース 2年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 2年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 2年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 2年 2単位 選択
<b>担当教員</b>	ポール パーナマイ		
<b>開講期</b>	後期		
<b>授業概要</b>	PREREQUISITES FOR THIS CLASS: ☑ Students will have completed high school English. Students should be able to understand and use language concerning familiar, everyday topics, such as likes and dislikes. They also should be able to give basic personal and family information. ☑ A. The number of this subject is GU1203.☑ B. The instructor has taught English for more than 20 years.☑ C. The lessons for this subject, Practical English II, are conducted entirely in English.☑ EVALUATIONS FOR THIS CLASS: ☑ ① You should be able to give a short clear self-introduction. ☑ ② You should be able to read smoothly and understand a short passage. ☑ ③ You should be able to do basic grammar in the context of spoken and written form.☑ FEEDBACK: I will frequently give constructive feedback to students on their participation, articulation, homework, quizzes and development.☑		
<b>達成目標</b>	GOALS OF THIS CLASS: ☑ A. The main focus will be to enhance key listening and language proficiency. ☑ B. Additionally, required quizzes and homework will incorporate listening tasks ☑ to evaluate overall comprehension. There will be a cumulative final exam.☑ C. The minimum standard to receive 2 credits for this subject is to achieve 60% or higher on ☑ the overall average of these main criteria, attitude, quizzes and the final test.☑ D. The "Diploma Policy" (DP) for this subject stipulates "Cooperation and Other" ☑ and "Human Development."☑		
<b>受講資格</b>	大学2年	<b>成績評価 方法</b>	1. Active, Enthusiasm (20%)☑ 2. Quizzes, Homework (30%)☑ 3. Final Cumulative Test (50%)
<b>教科書</b>	Speak NOW 2 by Jack C. Richards & David Bohlke☑		
<b>参考書</b>	Oxford University Press 2012		
<b>学生への要望</b>	Don't miss class. Be attentive. ☑ Do regular listening of your audio files.☑ Study 120 minutes of homework each class.☑ Review all material including textbook, online self-study and supplemental material.☑ ☑		
<b>オフィスタイム</b>	Room 837: Wednesday, 14:30~16:30☑ 時間 : 水曜日, 14:30~16:30 時限 ☑ 場所 : 83年館 3F 837研究室☑		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	Introduction to Class	Lessons 1-4---FRIENDS & FAMILY---Lesson 1---Where are you from? Pages 2-8, Explain Textbook, Tests, Quiz. Active Learning Explained. External Supplements Explained. Homework, Attendance, etc. I will explain in detail how the online portion of the class will be used.☑	Review the textbook. Read through Scope and Sequence of the textbook. Explain lessons we will do for the class. Show and explain the textbook and the online activities the students will do for the class. Bring textbook to all classes. Bring computer to all classes.	120
2	Lesson 1	Lesson 1---Where are you from?---Listening and Pronunciation. Listen to tracks 2-4. Conversation. Active learning pair work activity, English in Action Video, Page 10. Watch and explain online video.	Review the textbook. Read through pages 2-3. Listen to tracks 2-4. Do vocabulary worksheet 1. Do first online assignment.	120
3	Lesson 2	Lesson 2---I'm tall and thin.---Review Lesson 1---Where are you from?---Listening and Pronunciation. Listen to tracks 5-6. Conversation. Active learning pair work activity.	Review the textbook. Read through pages 4-5. Listen to tracks 5-6. Do vocabulary worksheet 2. Do online assignment.	120

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
4	Lesson 3	Lesson 3---Alice is more serious.---Review Lesson 2---I'm tall and thin.---Listening and Pronunciation. Listen to tracks 7-8. Conversation. Active learning pair work activity.	Review the textbook. Read through pages 6-7. Listen to tracks 7-8. Do vocabulary worksheet 3. Do online assignment.	120
5	Lesson 4	Lesson 4---All of my friends text.---Review Lesson 3---Alice is more serious.---Listening and Pronunciation. Listen to tracks 9-11. Conversation. Active learning pair work activity. Summary review. Pages 10-11. Confidence booster.	Review the textbook. Read through pages 8-9. Listen to tracks 9-11. Do vocabulary worksheet 4. Do online assignment. Review pages 12-13 English in Action online video supplement.	120
6	Lesson 5	Lessons 5-8---RESTAURANTS---Lesson 5---I've never had Thai food.---Listening and Pronunciation. Listen to tracks 12-13. Conversation. Active learning pair work activity.	Review the textbook. Read through pages 12-13. Listen to tracks 12-13. Do vocabulary worksheet 5. Do online assignment.	120
7	Lesson 6	Lesson 6---First, grill the bread.---Review Lesson 5---I've never had Thai food.---Listening and Pronunciation. Listen to tracks 14-16. Conversation. Active learning pair work activity.	Review the textbook. Read through pages 14-15. Listen to tracks 14-16. Do vocabulary worksheet 6. Do online assignment.	120
8	Lesson 7	Lesson 7---The service is great.---Review Lesson 6---First, grill the bread.---Listening and Pronunciation. Listen to tracks 17-18. Conversation. Active learning pair work activity.	Review the textbook. Read through pages 16-17. Listen to tracks 17-18. Do vocabulary worksheet 7. Do online assignment.	120
9	Lesson 8	Lesson 8---Are you ready to order?---Review Lesson 7---The service is great.---Listening and Pronunciation. Listen to tracks 19-21. Conversation. Active learning pair work activity. Summary review. Pages 20-21. Confidence booster.	Review the textbook. Read through pages 18-19. Listen to tracks 19-21. Do vocabulary worksheet 8. Do online assignment. Review pages 20-21 English in Action online video supplement.	120
10	Lesson 9	Lessons 9-12---HEALTH---Lesson 9---I have a sore throat.---Review Lesson 8---Are you ready to order?---Listening and Pronunciation. Listen to tracks 22-23. Conversation. Active learning pair work activity.	Review the textbook. Read through pages 22-23. Listen to audio tracks 22-23. Do vocabulary worksheet 9. Do online assignment. Review English in Action online video supplement.	120
11	Lesson 10	Lesson 10---What should I do?---Review Lesson 9---I have a sore throat.---Listening and Pronunciation. Listen to tracks 24-27. Conversation. Active learning pair work activity.	Review the textbook. Read through pages 24-25. Listen to audio tracks 24-27. Do vocabulary worksheet 10. Do online assignment. Review English in Action online video supplement.	120
12	Lesson 11	Lesson 11---I'd love to try that!---Review Lesson 10---What should I do?---Listening and Pronunciation. Listen to tracks 28-29. Conversation. Active learning pair work activity.	Review the textbook. Read through pages 26-27. Listen to audio tracks 28-29. Do vocabulary worksheet 11. Do online assignment. Review English in Action online video supplement.	120
13	Lesson 12	Lesson 12---Soccer is more exciting!---Review Lesson 11---I'd love to try that!---Listening and Pronunciation. Listen to tracks 30-32. Conversation. Active learning pair work activity. Summary review. Pages 30-31. Confidence booster.	Review the textbook. Read through pages 28-29. Listen to tracks 30-32. Do vocabulary worksheet 12. Do online assignment. Review pages 30-31 English in Action online video supplement.	120
14	Lesson 13	Lessons 13-16---JOBS---Lesson 13---I can write pretty well.---Review Lesson 12---Soccer is more exciting!---Listening and Pronunciation. Listen to tracks 33-36. Conversation. Active learning pair work activity.	Review the textbook. Read through pages 32-33. Listen to tracks 33-36. Do vocabulary worksheet 13. Do online assignment. Review English in Action online video supplement.	120

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
15	Test Review	Textbook Summary, CD Review, Quiz, Conversation. Active learning pair work activity review. Test Preparation & Review.☒	Review the textbook. Read through pages indicated to study for the final test. Listen to all audio tracks indicated during test preparation.	180

<b>科目名</b>	専門英語（生活）	<b>対象 単位数 必選</b>	家政学部 人間生活学科生活総合コース 3年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 3年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 3年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 3年 2単位 選択
<b>担当教員</b>	J・ティルマント		
<b>開講期</b>	前期		
<b>授業概要</b>	<p>この授業では、LL教室を利用して、日常の社会生活における基礎的な英語コミュニケーション能力を習得することを目標とする。具体的な達成目標：                  (1)日常の基本的会話表現の際に必要な語彙を習得できる。(2)日常の基本的会話表現の際に必要なリスニング能力を習得できる。(3)日常の基本的会話表現に必要な発話能力を習得できる。☑                  中学・高校で培われた英語力の上に立ち、英語学習の4技能、つまり「リーディング」、「ライティング」、「リスニング」、「スピーキング」のうち、これまであまり学習時間が割かれることのなかった「リスニング力」と「スピーキング力」の向上を目指す。☑                  達成目標(1)、(2)、(3)の各項目の理解、および習得状況を把握し、それを評価するために試験を実施する（達成目標（1）、（2）、（3）の評価割合はそれぞれ約30%、約40%、約30%である）。ただし、小テスト、レポート等を評価に加える場合もある。☑                  Wednesday ☑                  Items for use in course evaluations:☑                  ① Understanding of the theoretical underlying goals and methods of communication. ☑                  ② Developing abilities in initiating, continuing and expanding spoken and written communications.☑                  ③ Gaining self-confidence leading to improved communication abilities☑</p>		
<b>達成目標</b>	<p>授業は二つのパートから構成される。一つはリスニングの練習、A.Vなども使用する。二つの目は会話の練習である。学生は独自の英語による会話を創作し発表する。トピックは、自己紹介、趣味、時間と曜日、買い物、外食、旅行、仕事などである。その他として、ビデオ観賞、小テストなど予定している。☑                  We will be practicing general English communication, with an emphasis on terms and language students might be expected to used in regular activities that relate to the student's majors.</p>		
<b>受講資格</b>		<b>成績評価 方法</b>	
<b>教科書</b>	TBA		
<b>参考書</b>			
<b>学生への要望</b>			
<b>オフィスタイム</b>	Anytime I am on campus (usually Tuesday and Wednesday), or by e-mail (My address is in the class hand-out print).		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	Class Introduction	☑ 授業内容についての説明 / 一般的な発音とコミュニケーションの方法について。☑ Introduction: General introduction and explanation of class.☑ Introduction to the textbook and ActiveBook.☑		0
2	Nice to Meet You	Getting Acquainted, Unit 1, pp 2~13: Names, personal information.☑ Pronunciation hints and other verbal tools.☑		0
3	Introduce Me	Top Notch TV (TNTV) 1 ( Sit-com sketch ) / ActiveBook: Supplemental learning through use of video clips and game software		0
4	Your Turn	Introduce me: Introducing your partner to the rest of the class.		0
5	Going Out	Going Out☑nit 2, pp 14~25: Accepting invitations, making plans, times and dates. ☑ TNTV 2.1 / ActiveBook: Supplemental learning through use of video clips and game software☑		0
6	Review	Short quiz on material in unit 2, part one: making plans, getting information, times and dates.		0
7	Locations and directions	Asking for locations and directions.☑ TNTV 2.2 / ActiveBook: Supplemental learning through use of video clips and game software☑		0
8	Review	Review of Unit 2 through use of CD-ROM.☑		0

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
9	Your Turn	How do I get there?		0
10	Eating Out	Ready To Order Unit 4, pp38-49: Eating out, ordering at a restaurant, paying for a meal.		0
11		TNTV: / ActiveBook: Supplemental learning through use of video clips and game software.		0
12	Review	Short quiz based on the material in Unit 4.		0
13	Technology and You	Unit 5, pp 50-61: Talking about brands, features, and characteristics of various electronic products.		0
14		TNTV 4 / ActiveBook: Supplemental learning through use of video clips and game software		0
15	Review	Short quiz based on the material in Unit 5.		0

<b>科目名</b>	専門英語 (栄養)	<b>対象 単位数 必選</b>	家政学部 人間生活学科生活総合コース 3年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 3年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 3年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 3年 2単位 選択
<b>担当教員</b>	ダニエル ホーナー		
<b>開講期</b>	前期		
<b>授業概要</b>	Outline of Professional English (for Nutrition and Dietetics) <input checked="" type="checkbox"/> 1. The number (ナンバリング) of this subject is GU1302. <input checked="" type="checkbox"/> 2. Instructor has taught English at Koriyama Women's University Attached High School <input checked="" type="checkbox"/> (郡山女子大学附属高等学校) since 1995. <input checked="" type="checkbox"/> 3. Be an active learner who participates in pair work, group work, discussions and presentations. <input checked="" type="checkbox"/> 4. Define and describe career and goals. <input checked="" type="checkbox"/> 5. Explore personal careers in detail. <input checked="" type="checkbox"/> 6. Learn terminology and technologies that facilitate professionals in your chosen career(s). <input checked="" type="checkbox"/> 7. Take a final written examination to evaluate personal careers and career objectives. <input checked="" type="checkbox"/> FEEDBACK: Educative feedback is frequently given to students on their conduct, homework, quizzes and tests that is positive, constructive and considers the individuality of each student but also the diversity of all of the students.		
<b>達成目標</b>	Achievement Goals: <input checked="" type="checkbox"/> ① You should be able to give a detailed self-introduction with information about career choice and goals. <input checked="" type="checkbox"/> ② Read and discuss professional articles specific to your future profession. <input checked="" type="checkbox"/> ③ Achieve a deep understanding of your future goals and career in the context of the 4 English skills. <input checked="" type="checkbox"/> ④ The minimum standard to receive 2 credits for this subject is to achieve 70% or higher on the overall average of these main criteria: attitude, the quiz, homework and the final test. <input checked="" type="checkbox"/> ⑤ The "Diploma Policy" (DP) for this subject stipulates "Cooperation with Others" and "Human Development."		
<b>受講資格</b>	大学3年	<b>成績評価 方法</b>	1. Participation, Attitude (10%) <input checked="" type="checkbox"/> 2. Quiz, Coursework (40%) <input checked="" type="checkbox"/> 3. Final Written Test (50%)
<b>教科書</b>	*Textbook Title: "Career Paths: Nutrition and Dietetics" (Book 1) <input checked="" type="checkbox"/> Authors: Angela Christaki, Jenny Dooley <input checked="" type="checkbox"/> Publisher: EXPRESS PUBLISHING <input checked="" type="checkbox"/> ISBN: 978-1-4715-7672-0 <input checked="" type="checkbox"/> (*Textbook may change depending on which courses take this subject.)		
<b>参考書</b>	Prints and coursework materials made by the instructor, Daniel O. Horner.		
<b>学生への要望</b>	1. Please attend all classes and be active learners during every class. <input checked="" type="checkbox"/> 2. For each hour of lecture by professors, students need 2 hours of preparation and review on their own. <input checked="" type="checkbox"/> 3. Always do classwork, coursework and listen to the CD. <input checked="" type="checkbox"/> 4. Study hard for quiz and test.		
<b>オフィスタイム</b>	Monday and Wednesday 5th Period (16:10 ~ 17:40), <input checked="" type="checkbox"/> and by Appointment, 創学館 4 F No.3 研究室.		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	Orientation and Unit 1	Introduction to Class: Explain the course, goals and testing process to the students. Active Learning: Students share in groups their career goals and expectations.	Preparation and read textbook Unit 1.	120
2	Unit 1 - Future Careers	Future Careers: Describe potential future careers including advantages and disadvantages. Use the "Adjective Bank" to provide more details about each student's chosen career. Use an online article titled "Professional Career Terminology" to provide in-depth information on terminology used in careers. Active Learning: Students interview each other about their future careers including advantages and descriptions about chosen careers.	Preparation, read article and listen to CD.	120

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
3	Unit 2-3 Skills and Interests	Students take an online survey to determine specific careers within the realm of dietetics that suit their interests and skills. Students share the results of the survey with classmates. Active Learning: In small groups, give presentations on the results of the survey.	Review	90
4	Unit 4 - Professional Development (PD)	Professional Development: Students will research areas of The Japan Dietetic Association (JDA) including its continuous education system which improves the ability of registered dietitians and dietitians and its professional career development through basic and advanced education. Active Learning: Group discussions about the JDA homepage, <a href="https://www.dietitian.or.jp/english/">https://www.dietitian.or.jp/english/</a> , and how it pertains to their specific career goals.☒	Research and Review	120
5	Unit 5 - Healthy Eating	Explore the various ways that dietitians promote healthy eating in society, including eating well-balanced meals with staple foods main dishes and side dishes, combining various foods, cooking meals in various ways, and combining home-made meals well with eating out, eating processed and prepared foods. Active Learning: Through pair work, students share the current methods they personally use to promote healthy eating in their families.☒	Preparation	120
6	Unit 6 - Unhealthy Eating Habits	Unhealthy Eating Habits: Students state their background knowledge on some of the unhealthy eating habits and the adverse effects of those habits. Then they discuss the contemporary problems facing society as a whole in regards to unhealthy eating habits. Active Learning: In small groups, students share personal information and societal information about unhealthy eating habits.	Review	90
7	Unit 7 - Dietitians' Code of Ethics	Dietitians' Code of Ethics: Nutrition and dietetics practitioners have a code of ethics in the USA. This code has the values and ethical principles guiding the nutrition and dietetics profession. It also sets forth commitments and obligations of the practitioner to the public, clients, the profession, colleagues and other professionals. Active Learning: Through group discussions, students will compare Japan's code of ethics to America's.	Preparation and review for quiz.	150
8	Unit 8 - Typical Meals	Typical Meals: Students view videos and pictures showing typical meals in the USA. Then they state their opinions about the meals. Active Learning: In small groups, students share online pictures of typical meals eaten for breakfast, lunch and supper in the USA, and state their opinions about the nutritional value of the meals. Students take quiz No. 1.	Preparation	120
9	Unit 9 - Nutrition and the Organs	Nutrition and the Organs: Students learn the main organs involved in the digestive process, including the esophagus, stomach, lungs, liver and intestines. They also describe the function of each organ in the digestive system. Active Learning: Students use diagrams of the digestive system to give presentations about the digestive process and the organs involved.	Review	90

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
10	Unit 10 - Nutrition of Children	Nutrition of Children: Explore the realm of children's nutrition by learning about (1) Balanced diets for children, (2) Their 4 food groups, (3) Energy and body-building foods and (4) Protective foods for children. Students will read articles pertaining to these areas. Active Learning: Presentations in small groups how the nutritional needs of children are different from adults.	Review	120
11	Unit 11 - Healthy Snacks	Healthy Snacks: Students share their knowledge about healthy and unhealthy snacks in Japan and abroad. Statistics on junk food will be compared in Japan and the USA. Active Learning: Presentations to the class about healthy and unhealthy snacks with advice on how to improve personal diets in these two areas.	Preparation	120
12	Unit 12 - Staying Thin	Staying Thin: Students will learn the key expressions to describe "the state of being thin or overweight," and specifically address the dangerous health affliction in the USA called "obesity." Students can brainstorm the reasons for the obesity crisis, and as preprofessionals in dietetics, use their expertise and give advice on how to tackle and solve the problem. Active Learning: Give presentations in small groups on the state of the obesity health crisis and how to solve it.	Preparation	90
13	Unit 13 - Food Labels	Food Labels: Students learn about food labels in the USA. Then they apply that knowledge to a real-life situation. In this situation, dinner guests will arrive at your house in just a few hours, and some of your guests have special dietary restrictions, so you have to locate specific information on food nutrition labels in order to assemble a menu that is appropriate and safe for all of your guests. Active Learning: Role playing to create a menu and dinner for people with dietary restrictions.	Preparation	120
14	Unit 14 -The Future World of Dietetics and Nutrition	Dietetic in the Future. With the aging population and Baby Boomers, there will be a need for more dietitians in the future, and the field of dietetics will inevitably have to evolve and even diversify to accommodate these realities. So students brainstorm ideas and use online resources to "paint a picture" of the world of dietetics and nutrition in the near and distant future. Active Learning: Through group work and presentations, students will research the future of dietetics and report the results and their own predictions to class.	Review	90
15	Unit 15 and Review	Read from essays including one titled, "Lessons from my first year as a dietitian." This essay and similar ones will give students some real-life "confessions" of dietitians so they know what to expect when embarking on a career in this profession. Active Learning: Students seek answers to specific questions they have about their chosen careers by learning from the testimonials of real dietetic professionals. Review for the final test.	Study, prepare and review for the final test.	240

科目名	英会話	対象 単位数 必選	家政学部 人間生活学科生活総合コース 3年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 3年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 3年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 3年 2単位 選択
担当教員	J・ティルマント		
開講期	後期		
授業概要	このクラスの目的は、実践的なアプローチをとることによって、書く事、話す事、両方において学生に英語を使う上で、自信をもたせることです。学生は、リスニングと読解の学習のみではなく、グループで自分自身の言葉で会話とコミュニケーションを創作します。学生は、これまでのクラスで勉強した英語を、会話の中で、どのように使用するかその方法を学習します。☒ ☒ Items for use in course evaluations:☒ ① Understanding of the theoretical underlying goals and methods of communication. ☒ ② Developing abilities in initiating, continuing and expanding spoken and written communications.☒ ③ Gaining self-confidence leading to improved communication abilities☒ ☒		
達成目標	授業は二つのパートから構成される。一つはリスニングの練習、A.Vなども使用する。二つの目は会話の練習である。学生は独自の英語による会話を創作し発表する。トピックは、自己紹介、趣味、時間と曜日、買い物、外食、旅行、仕事などである。その他として、ビデオ観賞、小テストなど予定している。		
受講資格	大1年☒ A・B家政学部 食物栄養学科 ☒ 1年 2単位 選択	成績評価 方法	合計で100になるように、Class work and listening tests 40% presentations 50% 出席率 10%☒
教科書	TBA		
参考書	(none)		
学生への要望			
オフィスタイム	any time I am on campus – usually Tuesday and Wednesday, or john_kgc@hotmail.com		

## -授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	Introduction	授業内容についての説明 / 一般的な発音とコミュニケーションの方法について		0
2	Nice To Meet You☒	Video clip: Supplemental learning through use of video clips and game software		0
3	Favorites	Which Do You Like Best ☒話練習：私の好きなもの		0
4	Review	第1回リスニングテスト (p5-6)		0
5	Times	When Are You Open☒スニング：時間の尋ね方と答え方 / Video clip: Supplemental learning through use of video clips and game software (p9-10)		0
6	What Time is the Movie	会話練習：何時からはじまりますか (何時から開きますか) / 今夜の予定はありますか (p.11-13)		0
7	Review	第2回リスニングテスト (p9-13)		0
8	How Much is This	Shapping: リスニング：これはいくらですか (買い物) / Video clip: Supplemental learning through use of video clips and game software (p19-20).		0
9	I'll Take It	会話練習：それをください。		0
10	Review	第3回リスニングテスト (p19-23)		0
11	Let's Eat	リスニング：外食へ (p24-25) / Video clip: Supplemental learning through use of video clips and game software.		0
12	Ready to Order	会話練習：注文する (p26-27).		0
13	Your Turn	Students begin to prepare an original short skit, or scene, in English, based on the material on pp24~25, that they will present to the rest of the class.		0
14		Presentation practice		0
15	Show Time	Student presentations of original skits or scenes.		0

<b>科目名</b>	運動健康論	<b>対象 単位数 必選</b>	家政学部 人間生活学科生活総合コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択
<b>担当教員</b>	佐藤 浩明		
<b>開講期</b>	通年		
<b>授業概要</b>	GU1119☑ 生活の基盤となる『健康なからだづくり』に欠かすことのできない運動の重要性を理解し、生涯にわたり自分の健康や体力に配慮ができ、それらを保持増進していくために必要となる知識や方法について実技、講義を通じて学びます。また久光製薬スプリングス女子プロバレーボールチーム、オランダナショナル女子バレーボールチームの監督、コーチ実務経験を活かしコミュニケーションや協調性を指導します。☑ ①運動と健康の関連を理解し、健康の在り方について学びます。☑ ②スポーツの意義を理解し、人間力について学びます。☑ ③運動を通して、協調性、コミュニケーション能力、フェアプレーの精神について学びます。☑ ④運動を通して、基礎体力の維持、向上する方法について学びます。☑ ⑤授業最後にレポート等は返却し口頭またはコメントで説明します。		
<b>達成目標</b>	健康的な生活に欠かすことのできない運動の方法や効果、自ら健康について考え行動できる力を習得する。スポーツ種目に必要な技術を習得すると共にコミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知り人間力を身に付ける。レポート、実技テスト等を受けることを最低基準とする☑ 【食物栄養学科】食と健康の職人的専門として人々の健康と生活の向上に寄与するという意識と責任をもっている☑ 【人間生活学科】スポーツを通して人間として人格形成を志向、自己の専門知識と技術を社会のために活かし、社会責任を果たす事ができる		
<b>受講資格</b>	家政学部 人間生活学科 生活総合コース 1年 2単位 選択☑ 家政学部 人間生活学科 福祉コース 1年 2単位 選択☑ 家政学部 人間生活学科 建築デザインコース 1年 2単位 選択☑ 家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択☑ ※教職課程履修者は必修	<b>成績評価 方法</b>	平常点30点（取組姿勢） 試験・提出物70点（実技・レポート）☑ ※本科目は実技を含むため、出席、積極的な取組みも重視します。
<b>教科書</b>	特になし（必要に応じて資料等を配布します）		
<b>参考書</b>	「健康・フィットネスと生涯スポーツ：大修館書店」「公認スポーツ指導者テキストⅠ・Ⅱ・Ⅲ：(財)日本体育協会」「スポーツトレーニング理論：日本文芸社」「ストレッチメソッド：高橋書店」「メンタルトレーニング：ベースボールマガジン社」「教養としてのスポーツ科学：大修館書店」		
<b>学生への要望</b>	自分の生活習慣に興味、関心を持ち、運動する習慣をつけてほしい。☑ 【授業中】積極的に取組み、運動を楽しむこと。タオル、水分は各自で必ず持参すること。（体調管理および熱中症対策）		
<b>オフィスタイム</b>	火・木の9:00～16:00まで創学館NO4研究室☑ 佐藤		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス	①授業目的、内容、進め方、評価方法の説明 ②服装、準備物の確認（注意事項含む） ③グループ分け	運動着、水分の準備をしてくる事	30
2	縄跳び①/からだづくりの運動	【テーマ：運動習慣をつける第一歩として、コミュニケーションゲームやレクリエーションで楽しくからだを動かす】☑ ☑ 【到達目標】☑ *スポーツ種目に必要な技術を習得する☑ *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑ ☑ ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②コミュニケーションゲーム・体ほぐしの運動 ③レクリエーションゲーム ④からだづくりの運動 ⑤縄跳び（個人およびグループ） ⑥クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア）☑ ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
3	縄跳び②／からだづくりの運動	<p>【テーマ：楽しくからだを動かしながらコーディネーショントレーニングで、からだの調整力を養う】☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②コーディネーショントレーニング ③レクリエーションゲーム ④からだづくりの運動 ⑤縄跳び（個人およびグループ） ⑥クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア）☑</p> <p>⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
4	縄跳び③／からだづくりの運動	<p>【テーマ：楽しくからだを動かしながらコーディネーショントレーニングで、からだの調整力を養う】☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②コーディネーショントレーニング ③レクリエーションゲーム ④からだづくりの運動 ⑤縄跳び（個人およびグループ） ⑥クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア）☑</p> <p>⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
5	フライングディスク③／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】☑</p> <p>☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
6	フライングディスク③／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】☑</p> <p>☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
7	フライングディスク③/からだづくりの運動	<p>【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】☑</p> <p>☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
8	フライングディスク③/からだづくりの運動	<p>【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】☑</p> <p>☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃☑</p>	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
9	フライングディスク③/からだづくりの運動	<p>【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】☑</p> <p>☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
10	ソフトバレーボール③/からだづくりの運動	<p>【テーマ：ソフトバレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーションを発揮し楽しみながらグループで行う】☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ソフトバレーボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	0

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
11	ソフトバレーボール③／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ソフトバレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ソフトバレーボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	0
12	ソフトバレーボール③／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ソフトバレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ソフトバレーボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
13	ソフトバレーボール③／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ソフトバレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ソフトバレーボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
14	ソフトバレーボール③／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ソフトバレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ソフトバレーボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
15	実技のまとめ	<まとめとして実技試験を行う>☒ ☒ ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ）②レクリエーションゲーム ③実技試験 ④クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑤体育館清掃	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
16	第16回 オリンピックについて	オリンピックの歴史と現状 オリンピズム、オリンピック憲章について学び、スポーツの持つ魅力について学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
17	第17回 生活と健康について①	<健康とは何か>☒ ☒ 健康について考える導入として、「健康の定義」をWHO（世界保健機関）の憲章をふまえ、様々な角度から学びます。☒	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
18	第18回 生活と健康について②	<生活習慣病の原因・対策・予防と運動>☒ ☒ ①生活習慣病の原因と予防、対策について理解し、運動との関係について学びます。☒ ②運動・休養と健康について学びます。☒	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
19	第19回 生活と健康について③	<大学生の健康>☒ ☒ 大学生の生活に潜む危険要因について理解し、セルフライフマネジメントについて学びます。☒	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
20	第20回 生活とスポーツについて①	<スポーツとは何か>☒ ☒ スポーツの意味を理解し、スポーツの社会的価値とスポーツに期待されることについて学びます。☒	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
21	第21回 生活とスポーツについて②	<生涯スポーツについて>☒ ☒ 生涯スポーツに関わることが自分の健康や生涯の楽しみにもどう影響するのか、①行う ②観る ③支える ④調べるの視点から学びます。☒	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
22	第22回 生活とスポーツについて③	<大学生とスポーツ>☒ ☒ 大学生になり高等学校まで必修で行われてきた体育の授業は著しく減少します。その中で自分の健康に興味を持ち、運動やスポーツにどう関わることができるかについて学びます。☒	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
23	第23回 スポーツから学ぶ①	<フェアプレーについて>☒ ☒ スポーツは定められたルールの中で勝敗を競い合うものです。それは日常生活や、普段の行動にも通じるものがあります。☒ ここではスポーツの中からフェアプレーについて学びます。☒	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
24	第24回 スポーツから学ぶ②	<メンタルトレーニング>☒ ☒ 常に結果が求められるスポーツ選手（アスリート）のメンタルトレーニング、ポジティブシンキング、行動基準について学びます。☒	脈拍130前後の運動を30分以上行う	0
25	第25回 スポーツから学ぶ③	<目標設定>☒ ☒ スポーツ選手（アスリート）の行動基準から自分の目標設定の方法について学びます。☒	脈拍130前後の運動を30分以上行う	0
26	第26回 健康増進のための身体運動について①	<体力とは>☒ ☒ ①体力の概念と体力要素（身体的要素 精神的要素）について学びます。☒ ②運動の原理原則について理解し、効果的な運動の方法について学びます。☒	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
27	第27回 健康増進のための身体運動について②	≪エクササイズの方法について≫ <input checked="" type="checkbox"/> 健康の保持増進やからだをつくるための方法（①有酸素運動 ②筋力トレーニング ③ストレッチ ④バランス等）や実施する際のポイントについて学びます。 <input checked="" type="checkbox"/>	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
28	第28回 コンディショニングについて	≪からだの調子を良くする・怪我の予防・対処方法≫ <input checked="" type="checkbox"/> ①コンディショニングを崩す原因を理解し予防方法について学びます。 <input checked="" type="checkbox"/> ②怪我の予防、応急処置の基本、熱中症対策について学びます。 <input checked="" type="checkbox"/>	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
29	第29回 健康的な生活について①	≪ライフスタイルについて≫ <input checked="" type="checkbox"/> 自分のライフスタイル（生活習慣・運動習慣）を客観的に理解し、健康的な生活を過ごすための方法について学びます。 <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
30	第30回 健康的な生活について②	≪良い習慣について≫ <input checked="" type="checkbox"/> 行動を邪魔する要因を理解し、運動習慣をつける方法について学びます。 <input checked="" type="checkbox"/> ※『健康なからだをつくる』をテーマに自分のライフスタイルについて考えます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30

<b>科目名</b>	情報処理演習	<b>対象 単位数 必選</b>	家政学部 人間生活学科生活総合コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 1年 2単位 選択
<b>担当教員</b>	石原 正道		
<b>開講期</b>	前期		
<b>授業概要</b>	パソコンの普及及びネットワーク化の急激な進展を踏まえ、今後必要となる情報処理技術であるコンピュータ、ネットワーク及びオフィスソフトの基礎技術を学ぶ。とくに本演習ではオペレーティング・システム(OS)の基本操作・メールやウェブの利用方法・文書作成について学習する。☒ フィードバックとして、未提出物がある場合や提出物の内容が不十分である場合などは追加課題の実施等を行う。☒ ☒ 位置づけ・水準 GU1120		
<b>達成目標</b>	本演習における達成目標は次の通りとする。☒ 1. オペレーティング・システム(OS)の基本的な操作ができること。☒ 2. ウェブとメールを利用した情報収集および情報伝達ができること。☒ 3. 文書作成・表計算ソフトウェアを利用し、必要な情報を盛り込んだ文書を作成することができること。☒ ☒ 単位認定の最低基準：内容の7割を理解していること☒ ディプロマ・ポリシーとの関係：他との協調、人間形成		
<b>受講資格</b>	なし。	<b>成績評価 方法</b>	達成目標の到達度合いは課題により評価する。内容の区切りで課題を提示し演習と確認を行う。評価の比率は課題1を20%、課題2を40%、課題3を40%とする。
<b>教科書</b>	イチからしっかり学ぶ！ Office基礎と情報モラル、noa出版(2016)		
<b>参考書</b>	なし。		
<b>学生への要望</b>	授業内容を反復して練習すること。		
<b>オフィスタイム</b>	月曜日 16:10-17:05, 情報処理教育研究室☒ 水曜日 14:30-16:00, 情報処理教育研究室☒ 他の時間でも構わないが、アポイントメントがあると確実に対応できる。☒ アポイントメント用連絡先 m_isihar@koryama-kgc.ac.jp		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	イントロダクション	この演習の目的・内容・単位数・教科書・成績評価について説明する。また演習を始めるにあたり、オリエンテーション時の内容を復習し、Webメールを利用、Windowsの基本操作ができるようにする。	復習として次のことを行うこと。 ・Webメールから携帯電話へメールを送信する(正しく着信することを確認する)。 ・携帯電話からWebメールのアドレスへメールを送信する。メールが転送されることを確認する。	45
2	ブラウザと検索	World Wide Web (WWW) を利用するために、ブラウザ・文字コード・Uniform Resource Locator・プロトコルなどのネットワークを利用する上での基礎事項を学習する。またインターネットの普及を踏まえた上で、インターネットを利用する上での注意事項について触れる。☒	復習として、次の点についてまとめること。 ・URLの構造 ・インターネットを利用する際に注意すべきポイント	45
3	Email	Email のアドレスの構造やメール転送の仕組みを学ぶ。メールアドレスの管理やメールのフィルタリング、TO, CC (Carbon Copy), BCC (Blind Carbon Copy) 違いなどメールの基本について学ぶ。☒ また、安全に Email を利用する方法やまたローカルコンピュータ上のメーラーだけでなく、Gmail を用いて Web 上のメールの用法も理解する。☒	復習として、Emailアドレスの構造とTO, CC, BCC の違いをまとめること。	30
4	課題1	インターネット(ブラウザ・メールなど)の用法について、正しく利用できるか確認をする。☒ また次回以降の教材の準備を行う。 教材のダウンロード <a href="http://www.noa-prolab.co.jp/download/">http://www.noa-prolab.co.jp/download/</a>	課題でできなかった点について、教科書等を用いて復習しておくこと。	30
5	Wordによる文書作成1	Word を用いた文章作成について学ぶ。Word の画面構成と名称を学び、書式の意味とその設定を行う。また文章中での表の作成・挿入などの方法を学ぶ。☒	復習として、eLearning Systemを用いて Word STEP2 確認テスト1を実施すること。	20

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
6	Wordによる文書作成2	表作成の操作として、列幅や行幅の変更・セルの結合・スタイルの設定等について学ぶ。さらにワードアートを始めとした図の挿入方法とその際の各種設定方法について学ぶ。☒	復習として、eLearning Systemを用いて Word STEP2 確認テスト2を実施すること。	20
7	Wordによるレポート作成	レポート作成時に必要となる基本的な設定方法について学ぶ。また文章内に表やグラフを挿入する際に必要となる Excel の基礎知識、脚注や引用などについても学ぶ。☒	復習として、eLearning Systemを用いて Word STEP2 確認テスト3, 確認テスト4を実施すること。	40
8	課題2	これまでの学習内容を踏まえ、提示された課題について一定時間での文章作成を行う。作成した文章については Web を通じて指定箇所に提出することで、一連の学習状況の確認を行う。☒	課題でできなかった点について、教科書等を用いて復習しておくこと。	60
9	表の作成	Excel を用いて表計算ソフトを学ぶ。表計算ソフトの基本画面構成・文字と数値の扱い・データ削除方法などの基本操作のほか、オートフィルや書式の設定などについて学ぶ。	復習として、授業内でオートフィルの機能を用いて作成した連続データを、再度作成してみること。	30
10	計算とアドレス	数式を用いた計算方法を学ぶ。特に表計算を行う上で重要な相対アドレス・絶対アドレス・混合アドレスの差異を学ぶ。☒	予習として教科書のp.132からp.140までを読んでもらうこと。	30
11	関数	コンピュータ上での関数について学ぶ。基本的な関数である SUM 関数および AVERAGE 関数を用い、表計算ソフト上での関数の扱いについて学ぶ。☒	予習として教科書のp.132からp.152までを読んでもらうこと。	30
12	論理	実用的な計算を行う上で重要な論理計算を行う関数について学ぶ。具体的には IF 関数や COUNTIF 関数などの用法などについて学ぶ。☒	復習として、eLearning Systemを用いて Excel STEP2 確認テスト5, 確認テスト6を実施すること。	30
13	表とグラフ	表計算ソフトでの表の書式設定を学び、作成した表からグラフを作成する方法について学ぶ。またグラフに関する基本的な設定を行う。☒	復習として、eLearning Systemを用いて Excel STEP3 確認テスト1, 確認テスト2を実施すること。	30
14	課題3	これまでの学習内容を踏まえ、提示された課題について一定時間での Excel で処理を行う。処理したファイルは Web を通じて指定箇所に提出する。これにより学習状況の確認を行う。☒	課題でできなかった点について、教科書等を用いて復習しておくこと。	60
15	プレゼンテーション	プレゼンテーションソフトを用いたプレゼンテーションの基本やスライド作成の注意点、スライド作成の基本機能について学ぶ	予習として、パワーポイントに関する章を読んでもらうこと。	30

科目名	情報処理演習	対象 単位数 必選	家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択
担当教員	山口 猛		
開講期	前期		
授業概要	<p>パソコンの普及及びネットワーク化の急激な進展を踏まえ、今後必要となる情報処理技術であるコンピュータ、ネットワーク及びオフィスソフトの基礎技術を学ぶ。とくに本演習ではオペレーティング・システム(OS)の基本操作・メールやウェブの利用方法・文書作成について学習する。また、IT企業でのシステムエンジニア勤務経験を活かし、実務的なパソコン活用力について考慮した授業を行う。☑</p> <p>☑ 実務経歴：システムエンジニアとして株式会社エフコムに勤務☑ システム開発・情報処理の経験をもとに、文書作成・表計算についての授業を行う。☑</p> <p>☑ フィードバックとして、未提出物がある場合や提出物の内容が不十分である場合などは追加課題の実施等を行う。☑</p> <p>☑ 位置づけ・水準 GU1120</p>		
達成目標	<p>本演習における達成目標は次の通りとする。☑</p> <p>1. オペレーティング・システム(OS)の基本的な操作ができること。☑</p> <p>2. ウェブとメールを利用した情報収集および情報伝達ができること。☑</p> <p>3. 文書作成・表計算ソフトウェアを利用し、必要な情報を盛り込んだ文書を作成することができること。☑</p> <p>☑ 単位認定の最低基準：内容の7割を理解していること☑ ディプロマポリシーとの関係：他との協調、人間形成</p>		
受講資格	なし。	成績評価 方法	達成目標の到達度合いは課題により評価する。内容の区切りで課題を提示し演習と確認を行う。評価の比率は課題1を20%、課題2を40%、課題3を40%とする。☑
教科書	イチからしっかり学ぶ！ Office基礎と情報モラル、noa出版 (2016)		
参考書	なし。		
学生への要望	授業内容を反復して練習すること。☑		
オフィスタイム	月曜日2・4限, 芸術館2階 No.2生芸科研究室		

## -授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	イントロダクション	この演習の目的・内容・単位数・教科書・成績評価について説明する。また演習を始めるにあたり、オリエンテーション時の内容を復習し、Webメールを利用、Windowsの基本操作ができるようにする。	復習として次のことを行うこと。 ・Webメールから携帯電話へメールを送信する(正しく着信することを確認する)。 ・携帯電話からWebメールのアドレスへメールを送信する。メールが転送されることを確認する。	45
2	ブラウザと検索	World Wide Web (WWW) を利用するために、ブラウザ・文字コード・Uniform Resource Locator・プロトコルなどのネットワークを利用する上での基礎事項を学習する。またインターネットの普及を踏まえた上で、インターネットを利用する上での注意事項について触れる。☑	復習として、次の点についてまとめること。 ・URLの構造 ・インターネットを利用する際に注意すべきポイント	45
3	Email	Email のアドレスの構造やメール転送の仕組みを学ぶ。メールアドレスの管理やメールのフィルタリング、TO, CC (Carbon Copy), BCC (Blind Carbon Copy) 違いなどメールの基本について学ぶ。☑ また、安全に Email を利用する方法やまたローカルコンピュータ上のメーラーだけでなく、Gmail を用いて Web 上のメールの用法も理解する。☑	復習として、Emailアドレスの構造とTO, CC, BCC の違いをまとめること。	30
4	課題1	インターネット(ブラウザ・メールなど)の用法について、正しく利用できるか確認をする。☑ また次回以降の教材の準備を行う。 教材のダウンロード <a href="http://www.noa-prolab.co.jp/download/">http://www.noa-prolab.co.jp/download/</a>	課題でできなかった点について、教科書等を用いて復習しておくこと。	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
5	Wordによる文書作成1	Word を用いた文章作成について学ぶ。Word の画面構成と名称を学び、書式の意味とその設定を行う。また文章中での表の作成・挿入などの方法を学ぶ。☒	復習として、eLearning Systemを用いて Word STEP2 確認テスト1を実施すること。	20
6	Wordによる文書作成2	表作成の操作として、列幅や行幅の変更・セルの結合・スタイルの設定等について学ぶ。さらにワードアートを始めとした図の挿入方法とその際の各種設定方法について学ぶ。☒	復習として、eLearning Systemを用いて Word STEP2 確認テスト2を実施すること。	20
7	Wordによるレポート作成	レポート作成時に必要となる基本的な設定方法について学ぶ。また文章内に表やグラフを挿入する際に必要となる Excel の基礎知識、脚注や引用などについても学ぶ。☒	復習として、eLearning Systemを用いて Word STEP2 確認テスト3, 確認テスト4を実施すること。	40
8	課題2	これまでの学習内容を踏まえ、提示された課題について一定時間での文章作成を行う。作成した文章については Web を通じて指定箇所に提出することで、一連の学習状況の確認を行う。☒	課題でできなかった点について、教科書等を用いて復習しておくこと。	60
9	表の作成	Excel を用いて表計算ソフトを学ぶ。表計算ソフトの基本画面構成・文字と数値の扱い・データ削除方法などの基本操作のほか、オートフィルや書式の設定などについて学ぶ。	復習として、授業内でオートフィルの機能を用いて作成した連続データを、再度作成してみること。	30
10	計算とアドレス	数式を用いた計算方法を学ぶ。特に表計算を行う上で重要な相対アドレス・絶対アドレス・混合アドレスの差異を学ぶ。☒	予習として教科書のp.132からp.140までを読んでおくこと。	30
11	関数	コンピュータ上での関数について学ぶ。基本的な関数である SUM 関数および AVERAGE 関数を用い、表計算ソフト上での関数の扱いについて学ぶ。☒	予習として教科書のp.132からp.152までを読んでおくこと。	30
12	論理	実用的な計算を行う上で重要な論理計算を行う関数について学ぶ。具体的には IF 関数や COUNTIF 関数などの用法などについて学ぶ。☒	復習として、eLearning Systemを用いて Excel STEP2 確認テスト5, 確認テスト6を実施すること。	30
13	表とグラフ	表計算ソフトでの表の書式設定を学び、作成した表からグラフを作成する方法について学ぶ。またグラフに関する基本的な設定を行う。☒	復習として、eLearning Systemを用いて Excel STEP3 確認テスト1, 確認テスト2を実施すること。	30
14	課題3	これまでの学習内容を踏まえ、提示された課題について一定時間での Excel で処理を行う。処理したファイルは Web を通じて指定箇所に提出する。これにより学習状況の確認を行う。☒	課題でできなかった点について、教科書等を用いて復習しておくこと。	60
15	プレゼンテーション	プレゼンテーションソフトを用いたプレゼンテーションの基本やスライド作成の注意点、スライド作成の基本機能について学ぶ	予習として、パワーポイントに関する章を読んでおくこと。	30

<b>科目名</b>	キャリアデザインⅠ		<b>対象 単位数 必選</b>	家政学部 人間生活学科生活総合コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択
<b>担当教員</b>	桑野 聡			
<b>開講期</b>	後期			
<b>授業概要</b>	<p>本学におけるキャリア教育は、「一人一人の社会的自立に向け、生涯を通して自己を磨き続けることができる能力を育成するための教育」と定義されます。本授業では、まず大学生として学ぶ姿勢の基本を身につけることで、「つくる力」(創造力、論理的思考力、表現力)と「かかわる力」(主体的行動力、コミュニケーション能力、倫理・道徳観)という社会で活躍するための基礎力を確認し、主体的に大学生活を送ることで各自のライフキャリアを構築できるようにします。</p> <p>□最終授業で全体に対するフィードバックを行います。提出物は返却しますので、必ずファイリングして以後の集会や就職活動等に役立ててください。 GU1121</p>			
<b>達成目標</b>	<p>自分の夢を実現するための具体的な目標をキャリアプランニングの意識を持って自主的にレポートにまとめることができる。初回と最終回の自己評価・2回の課題レポートの提出・最終回のテキスト提出を単位認定の最低基準とする。</p> <p>ディプロマ・ポリシーとの関係： 個の確立・人間形成 <input checked="" type="checkbox"/></p>			
<b>受講資格</b>	特になし	<b>成績評価 方法</b>	授業時のワークへの取り組み状況(使用教材集提出)と提出物(第6回授業の課題レポートと第14回授業のレポートなど)から「認」評価を判定する。	
<b>教科書</b>	教材集『キャリアデザイン-大学の教養・キャリア教育のスタートをバックアップ!』配布			
<b>参考書</b>	授業中に適宜提示する。			
<b>学生への要望</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞やインターネットなどのメディアには、有益な進路情報がたくさん掲載されています。定期的な目を通すことで、労働環境や職業社会の実態を把握し、自分の意見を整理してみましょう。☒</li> <li>・自分自身の進路について、周囲の友人や家族と日常的に話してみましょう。また、身近にいる社会人から仕事や家庭生活に関する話を聞いてみることも、進路を考える上でヒントになります。</li> <li>・就職部の実施する就職ガイダンス・各種模擬試験・インターンシップなどの活動に積極的に参加しましょう。</li> </ul>			
<b>オフィスタイト</b>	全体のコーディネーターは桑野が担当する。 火曜Ⅱ時限目(10:30~12:00)・金曜Ⅴ時限目(16:10~17:40) 考古学研究室(83年館1階)。その他、各担当教員の指示に従ってください。			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	オリエンテーション-キャリアデザインの意義と目的	本講義の目的・意義・内容・計画を理解した上で、「キャリア」とは何か、「キャリアをデザインする」とはどういうことかを考えます。	自己評価票を真摯に記入し、現時点での自分をよく観察してみましょう。	60
2	郡山女子大学を知ろう-建学の精神と学園の歴史	学園の歴史と建学の精神の基本的な考え方を解説します。	『開成』を読み返し、図書館で『学園史』を手に取ったり、集会などで学科のアドバイザーの先生と建学の精神について話し合ってみてください。	60
3	「つくる力」を育てる(1)-情報を読む力・まとめる力	講義から情報を読む力(聴く力・ノートにまとめる力)をトレーニングします。	講義を聞く姿勢、ノートの取り方の基本は同じでも、詳細は科目によって異なります。自分でも工夫を心掛けてみましょう。	60
4	「つくる力」を育てる(2)-書く力・伝える力の育成	レポートの書き方を手掛かりに事実と意見の違いや「きちんと考える」ことの必要性を確認します。	新聞や参考文献、友人や家族と話し合ってみて、レポートの構成を良く考えましょう。	120
5	「つくる力」を育てる(3)-社会でのパソコン活用マナー	メール作成の方法、添付ファイルの方法、パソコンによるレポート作成の方法を基礎から学びます。	パソコンを用いてレポートを書いた後、提出前に必ず読み直しをして「推敲」しましょう。	120
6	「かかわる力」を育てる(1)-多様なライフコース	女性のライフコースの多様な選択肢をワークライフバランスに着目して考えます。	現時点の自分の考えを確認すると共に、家族や友人と意見交換をして、異なる意見に沢山出会ってください。	60
7	「かかわる力」を育てる(2)-男女の働き方、ワークライフバランスを考える	前回の授業を受けて、長いキャリアの中でパートナーや家族と共に生活する上での諸問題を考えます。	男女に拘らず、複数で共同生活することは、私たちの社会生活の基本であることを自覚して、創造力を発揮して話し合いましょう。	60
8	「かかわる力」を育てる(3)-お金から考えるライフプランニング	長いキャリアを生きる中で、私たちは多くのライフイベントを経験し、生活共同体の中での役割を変化させていきます。その時々々の状況をお金の面から考えます。	講義の後、自分自身や家族の貯金・保険・年金などについて実際に具体的な話をしてみましょう。	60
9	「かかわる力」を育てる(4)-働くためのルール	労働法の基礎知識から働く上での諸問題への対応方法を考えます。	講義の後、自分自身のアルバイト経験や家族の働き方について話をしてみましょう。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
10	「かかわる力」を育てる(5)-アサーショントレーニング①	堂々と自分の意見を述べるために必要なアサーションの考え方の基本を学びます。	アサーションは、自分自身が考え納得して行動することが大切です。表面的なテクニックだけでなく、よく自分の内面と向かい合ってみてください。	60
11	「かかわる力」を育てる(6)-アサーショントレーニング②	アサーションの技術を向上させる。I・Youメッセージを学びます。	アサーションは、自分自身を守るためだけでなく、相手のことを考えることに繋がります。周りの人とよく話し合ってみましょう。	60
12	「かかわる力」を育てる(7)-働くこと、生きることを考える	働き続けることを「ライフキャリアの虹」を用いて解説し、職業レディネステストを実施して分析します。	職業レディネステストのワークをよく見直し、職業適性検査やさまざまな情報と比較検討してみましょう。	60
13	総合演習(1) -女性と就業について① 講演	素敵な生き方を実践している外部講師による講演を実施します。	講演を傾聴し、講演後はSNSや新聞などで講演者や時代、事件などについて調べてみましょう。もっと多くのモノが見えてきます。	60
14	総合演習(2) -女性と就業について② グループ討論	前回の外部講師の講演を踏まえて討論し、レポートを作成します。	半期の授業も終盤です。自分の学びの総まとめとして積極的に討論に参加できるように準備しましょう。	120
15	まとめ -自分のキャリアを創ろう！	自己評価票の記入・授業アンケートを実施し、「マンダラチャート」を作成して各自のキャリアプランの作成を試みます。	初回の自己評価票とじっくり比較すると共に、「マンダラチャート」で次の具体的な一歩を明確にしましょう。	60

<b>科目名</b>	キャリアデザインII	<b>対象 単位数 必選</b>	家政学部 人間生活学科生活総合コース 2年 1単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 2年 1単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 2年 1単位 選択/家政学部 食物栄養学科 2年 1単位 選択
<b>担当教員</b>	森 みい		
<b>開講期</b>	前期		
<b>授業概要</b>	<p>【授業のねらい】☑                      将来の社会生活や職業生活に向けて、自らの資質を向上させ、社会的職業的自立を図るために必要な能力を培い、幅広い人間形成を図ることを目的としています。社会人としての自覚と行動を視野に入れて、主体的にキャリア形成能力を育成します。働くことの実態、意義、面白みを体感していきます。インターンシップを推進して、学生の自己認識、社会・職業認識の深化を促し、就職意欲のある学生に対して、豊富かつ適切な就職情報を提供するとともに希望に添った就職活動が行えるよう支援します。☑                      インターンシップ終了後に、課題・レポート提出及び、インターンシップ報告会を行い、課題についてフィードバックを行います。☑</p> <p>☑                      【授業の概要】☑                      インターンシップ（就業体験）を通じ、自らの専門や将来希望する職業の関連した職場での体験で、学んでいる内容と社会との関連性を認識し、今後の主体的な学修への動機付けを強め、職業を具体的に理解することで仕事の奥深さを実感していきます。働くことについて総合的に理解や仕事をする達成感、充実感、社会貢献を体得します。前期6回の講義、夏休み期間中のインターンシップ（3日間）、および、受け入れ企業のご担当者を招いた報告会から構成されています。インターンシップ終了後報告書を作成することで成果と課題を理解します。担当者は、大学・短大の就職部長であり、キャリアコンサルタントの資格を有し、就職指導にあたっての経験を活かし授業を行います。☑</p> <p>☑                      ☑                      GC1118</p>		
<b>達成目標</b>	<p>【授業終了時の達成目標】☑                      インターンシップを通して、社会人として必要な能力と知識を学び、課題解決力を養っていきます。また、新たな学習意欲の契機となるように、仕事の奥深さを実感し、働くことへの理解や充実感を感じ、人々の生活向上や社会に貢献ができることを目標とします。</p>		
<b>受講資格</b>	特になし	<b>成績評価 方法</b>	就業体験60%・報告会20%・提出物20%「認」評価判定
<b>教科書</b>	なし		
<b>参考書</b>	なし		
<b>学生への要望</b>	インターンシップは自分の変化や成長を実感できる機会です。広い視野を持ち、各個人のキャリアを考えて、新たな挑戦で自らの可能性の枠を広げてみてはどうでしょう。		
<b>オフィスタイム</b>	月曜日 9:00～12:30 水曜日 9:00～12:30 事前にご相談いただければそれ以外でも対応します。		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	インターンシップの概要☑ 6/4(Vコマ)☑	インターンシップの概要説明で理解を深める、インターンシップの目的の明確化。各業界の今後の発展方向をみる。就業体験先の希望調査。「インターンシップ希望調査票」「志望理由」の提出をする。インターンシップに必要な書類についての確認する。☑	就業体験先の希望調査があるので、企業・業界研究しておく。 インターンシップの目標を設定する。	30
2	インターンシップの心構え☑ 6/18(Vコマ)	インターンシップの取り組みを動画で見て、ワークを実施しながらインターンシップの考えを深化させていく。(ムビケーションの実施)☑	インターンシップは具体的にどのように考えていくか、実施している企業を研究する。	30
3	企業研究(講演)☑ 7/9(Vコマ)☑ ☑ ☑	身近な若き経営者の講演を実施する。社会と協働する中で、人間力や就業観の醸成及び学習意欲を高めていく。また、人生をどのように生きていく、自分の将来のキャリアプランを考える。	企業の働きから、社会の動向を学び、働く事への理解を深める。	30
4	事前指導☑ (ビジネス文書作成)☑ 7/30(Vコマ)☑	メールと封書でのお礼状の書き方を理解して実践する。また電話やメールのアポイントのとり方を学ぶ。また、就業体験先の決定をする。☑	手紙の書き方、ビジネスでのメール送信、電話の掛け方等、一般的なナーを確認しておく。	30
5	事前指導☑ (マナー講座)☑ 8/6(Vコマ)☑	マナー講座実施を通して、言葉遣い、立ち居振る舞い、挨拶等、円滑な人間関係を築くための基礎を身に付ける。☑ 就業体験先との打合せを始める。	挨拶・言葉遣いを実践で学んでいくので、印象のいいマナーを日常から意識して練習する。	30
6	直前指導☑ (インターンシップ先の企業研究)8/27(Vコマ)☑ ☑	業界・企業知識やインターンシップ(就業体験)の基本知識を学び、企業研究を深める。先輩の体験からインターンシップ直前の留意点を確認する。	インターンシップ先にアポイントを取り担当者と打合せをする。電話の掛け方、インターンシップに向けてマナーの練習をする。	30
7	インターンシップ実施 9/7～9/9	各企業において、夏季休業中(9月上旬)に3日間のインターンシップ(就業体験)を行います。	企業研究及び交通手段の確認をする。インターンシップ先の企業研究を行い、最終確認をする。	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
8	インターンシップ報告会☒ 9/26 (Iコマ) ☒	事後報告会として、グループで全員が報告会を実施する。実習日誌、その他の提出物を提出する。	報告会の準備と提出物の最終確認をする。	30
9	インターンシップ報告会☒ 9/26 (IIコマ) ☒ ☒	事後報告会として、代表者の報告を企業の方も参加して実施する。実習日誌、その他の提出物を提出する。	報告会で発表し、報告者の発表から課題を考えていく。	30

令和2年度

<b>科目名</b>	芸術鑑賞講座・教養講座Ⅰ		<b>対象 単位数 必選</b>	家政学部 人間生活学科生活総合コース 1年 0.5単位 必修/家政学部 人間生活学科福祉コース 1年 0.5単位 必修/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 1年 0.5単位 必修/家政学部 食物栄養学科 1年 0.5単位 必修
<b>担当教員</b>				
<b>開講期</b>	通年			
<b>授業概要</b>	<p>芸術は人間存在や世界の真相をありありと感じさせるものです。高度な芸術に接して感動することにより、人間として最も大切な感性を磨き、豊かな人間性を育てます。芸術鑑賞講座として年に4回、一流のアーティストや作品を学内に招き、全学で感動を共有します。教養は個々の専門知識を縦横に関連づけ、創造的な思考を導くものです。教養講座として年に3回、一流の文化人を招き、全学で講演を聴き、個々の人生について深く考えます。このほかに「特別教養講座」を行う場合もあります。</p>			
<b>達成目標</b>	知的で心豊かな、人の役に立つ人生について、考えを深める力を養います。			
<b>受講資格</b>	本学の全学生	<b>成績評価 方法</b>	レポート	
<b>教科書</b>	リーフレット、講演資料			
<b>参考書</b>	図書館で関連図書を展示します。			
<b>学生への要望</b>	自分でも積極的に調べ、毎回きちんと感動および考えを文章にすること。			
<b>オフィスタイム</b>	集会時（各アドバイザー）			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	第1回 教養講座 4/22 (11:00~12:00)	養老孟司氏	御著書『バカの壁』は、若い人にも読みやすい大ベストセラーです。一読してみましょう。	120
2	第209回 芸術鑑賞講座 5/13 (13:00~15:00)	「劇団新制作座 泥かぶら」	新制作座の創立者、真山美保について調べ、劇団の意義を考えてみましょう。	90
3	第210回 芸術鑑賞講座 5/3 (13:00~14:30)	「一人芝居」	杉原千畝の偉業を理解するには、第二次世界大戦、特にユダヤ人に対するナチスドイツの迫害を知らなければなりません。歴史書等で調べてみましょう。	120
4	第2回 教養講座 7/8 7/8 (13:00~14:00)	大林素子氏	バレーボール選手としてアトランタ五輪（1996年）に出場した頃の御活躍を、ネット等で調べてみましょう。	90
5	第211回 芸術鑑賞講座 9/16 (13:00~14:00)	腰越満美ソプラノコンサート	特に印象に残った曲目について、作曲家や制作の時代背景を調べてみましょう。	90
6	第212回 芸術鑑賞講座 10/6~10/11	「齋 正機展」	会期中に何回も鑑賞しましょう。また、自分でも色鉛筆やクレヨンなどで風景画を描いてみましょう。	90
7	第3回 教養講座 11/18	ケントギルバート氏	御著書『私が日本に住み続ける15の理由』は電子書籍にもなっています。日米を比較することでわかることも多いので、一読してみましょう。	120

令和2年度

科目名	芸術鑑賞講座・教養講座Ⅱ		対象 単位数 必選	家政学部 人間生活学科生活総合コース 2年 0.5単位 必修/家政学部 人間生活学科福祉コース 2年 0.5単位 必修/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 2年 0.5単位 必修/家政学部 食物栄養学科 2年 0.5単位 必修
担当教員				
開講期	通年			
授業概要	<p>芸術は人間存在や世界の真相をありありと感じさせるものです。高度な芸術に接して感動することにより、人間として最も大切な感性を磨き、豊かな人間性を育てます。芸術鑑賞講座として年に4回、一流のアーティストや作品を学内に招き、全学で感動を共有します。教養は個々の専門知識を縦横に関連づけ、創造的な思考を導くものです。教養講座として年に3回、一流の文化人を招き、全学で講演を聴き、個々の人生について深く考えます。このほかに「特別教養講座」を行う場合もあります。</p>			
達成目標	知的で心豊かな、人の役に立つ人生について、考えを深める力を養います。			
受講資格	本学の全学生	成績評価 方法	レポート	
教科書	リーフレット、講演資料			
参考書	図書館で関連図書を展示します。			
学生への要望	自分でも積極的に調べ、毎回きちんと感動および考えを文章にすること。			
オフィスタイム	集会時（各アドバイザー）			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	第1回 教養講座 4/22 (11:00~12:00)	養老孟司氏	御著書『バカの壁』は、若い人にも読みやすい大ベストセラーです。一読してみましょう。	120
2	第209回 芸術鑑賞講座 5/13 (13:00~15:00)	「劇団新制作座 泥かぶら」	新制作座の創立者、真山美保について調べ、劇団の意義を考えてみましょう。	90
3	第210回 芸術鑑賞講座 5/3 (13:00~14:30)	「一人芝居」	杉原千畝の偉業を理解するには、第二次世界大戦、特にユダヤ人に対するナチスドイツの迫害を知らなければなりません。歴史書等で調べてみましょう。	120
4	第2回 教養講座 7/8 7/8 (13:00~14:00)	大林素子氏	バレーボール選手としてアトランタ五輪（1996年）に出場した頃の御活躍を、ネット等で調べてみましょう。	90
5	第211回 芸術鑑賞講座 9/16 (13:00~14:00)	腰越満美ソプラノコンサート	特に印象に残った曲目について、作曲家や制作の時代背景を調べてみましょう。	90
6	第212回 芸術鑑賞講座 10/6~10/11	「齋 正機展」	会期中に何回も鑑賞しましょう。また、自分でも色鉛筆やクレヨンなどで風景画を描いてみましょう。	90
7	第3回 教養講座 11/18	ケントギルバート氏	御著書『私が日本に住み続ける15の理由』は電子書籍にもなっています。日米を比較することでわかることも多いので、一読してみましょう。	120

科目名	芸術鑑賞講座・教養講座Ⅲ		対象 単位数 必選	家政学部 人間生活学科生活総合コース 3年 0.5単位 必修/家政学部 人間生活学科福祉コース 3年 0.5単位 必修/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 3年 0.5単位 必修/家政学部 食物栄養学科 4年 0.5単位 必修
担当教員				
開講期	通年			
授業概要	<p>芸術は人間存在や世界の真相をありありと感じさせるものです。高度な芸術に接して感動することにより、人間として最も大切な感性を磨き、豊かな人間性を育てます。芸術鑑賞講座として年に4回、一流のアーティストや作品を学内に招き、全学で感動を共有します。教養は個々の専門知識を縦横に関連づけ、創造的な思考を導くものです。教養講座として年に3回、一流の文化人を招き、全学で講演を聴き、個々の人生について深く考えます。このほかに「特別教養講座」を行う場合もあります。</p>			
達成目標	知的で心豊かな、人の役に立つ人生について、考えを深める力を養います。			
受講資格	本学の全学生	成績評価 方法	レポート	
教科書	リーフレット、講演資料			
参考書	図書館で関連図書を表示します。			
学生への要望	自分でも積極的に調べ、毎回きちんと感動および考えを文章にすること。			
オフィスタイム	集会時（各アドバイザー）			

## -授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	第1回 教養講座 4/22 (11:00~12:00)	養老孟司氏	御著書『バカの壁』は、若い人にも読みやすい大ベストセラーです。一読してみましょう。	120
2	第209回 芸術鑑賞講座 5/13 (13:00~15:00)	「劇団新制作座 泥かぶら」	新制作座の創立者、真山美保について調べ、劇団の意義を考えてみましょう。	90
3	第210回 芸術鑑賞講座 5/3 (13:00~14:30)	「一人芝居」	杉原千畝の偉業を理解するには、第二次世界大戦、特にユダヤ人に対するナチスドイツの迫害を知らなければなりません。歴史書等で調べてみましょう。	120
4	第2回 教養講座 7/8 5/8 (13:00~14:00)	大林素子氏	バレーボール選手としてアトランタ五輪(1996年)に出場した頃の御活躍を、ネット等で調べてみましょう。	90
5	第211回 芸術鑑賞講座 9/16 (13:00~14:00)	腰越満美ソプラノコンサート	特に印象に残った曲目について、作曲家や制作の時代背景を調べてみましょう。	90
6	第212回 芸術鑑賞講座 5/8 10/6~10/11	「斎 正機展」	会期中に何回も鑑賞しましょう。また、自分でも色鉛筆やクレヨンなどで風景画を描いてみましょう。	90
7	第3回 教養講座 11/18	ケントギルバート氏	御著書『私が日本に住み続ける15の理由』は電子書籍にもなっています。日米を比較することでわかることも多いので、一読してみましょう。	120

令和2年度

<b>科目名</b>	芸術鑑賞講座・教養講座Ⅳ		<b>対象 単位数 必選</b>	家政学部 人間生活学科生活総合コース 4年 0.5単位 必修/家政学部 人間生活学科福祉コース 4年 0.5単位 必修/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 4年 0.5単位 必修/家政学部 食物栄養学科 4年 0.5単位 必修
<b>担当教員</b>				
<b>開講期</b>	通年			
<b>授業概要</b>	<p>芸術は人間存在や世界の真相をありありと感じさせるものです。高度な芸術に接して感動することにより、人間として最も大切な感性を磨き、豊かな人間性を育てます。芸術鑑賞講座として年に4回、一流のアーティストや作品を学内に招き、全学で感動を共有します。教養は個々の専門知識を縦横に関連づけ、創造的な思考を導くものです。教養講座として年に3回、一流の文化人を招き、全学で講演を聴き、個々の人生について深く考えます。このほかに「特別教養講座」を行う場合もあります。</p>			
<b>達成目標</b>	知的で心豊かな、人の役に立つ人生について、考えを深める力を養います。			
<b>受講資格</b>	本学の全学生	<b>成績評価 方法</b>	レポート	
<b>教科書</b>	リーフレット、講演資料			
<b>参考書</b>	図書館で関連図書を展示します。			
<b>学生への要望</b>	自分でも積極的に調べ、毎回きちんと感動および考えを文章にすること。			
<b>オフィスタイム</b>	集会時（各アドバイザー）			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	第1回 教養講座 4/22 (11:00~12:00)	養老孟司氏	御著書『バカの壁』は、若い人にも読みやすい大ベストセラーです。一読してみましよう。	120
2	第209回 芸術鑑賞講座 5/13 (13:00~15:00)	「劇団新制作座 泥かぶら」	新制作座の創立者、真山美保について調べ、劇団の意義を考えてみましょう。	90
3	第210回 芸術鑑賞講座 5/3 (13:00~14:30)	「一人芝居」	杉原千畝の偉業を理解するには、第二次世界大戦、特にユダヤ人に対するナチスドイツの迫害を知らなければなりません。歴史書等で調べてみましょう。	120
4	第2回 教養講座 7/8 5/8 (13:00~14:00)	大林素子氏	バレーボール選手としてアトランタ五輪（1996年）に出場した頃の御活躍を、ネット等で調べてみましょう。	90
5	第211回 芸術鑑賞講座 9/16 (13:00~14:00)	腰越満美ソプラノコンサート	特に印象に残った曲目について、作曲家や制作の時代背景を調べてみましょう。	90
6	第212回 芸術鑑賞講座 5/8 10/6~10/11	「齋 正機展」	会期中に何回も鑑賞しましょう。また、自分でも色鉛筆やクレヨンなどで風景画を描いてみましょう。	90
7	第3回 教養講座 11/18	ケントギルバート氏	御著書『私が日本に住み続ける15の理由』は電子書籍にもなっています。日米を比較することでわかることも多いので、一読してみましょう。	120